

平成30年度 邑楽町第六次総合計画施策評価シート(結果)

基本施策	具体的な事業 取組状況 (PD)	KPI① 実績点数 (D)	KPI② 実績点数 (D)	KPI 課題捉方 (C)	KPI 改善方法 (A)	総合評価
(1)総合的な医療サービスの提供	29.17点	7.50点	0.00点	8.13点	7.81点	52.61点
(2)健康づくりの推進	35.42点	13.09点	0.00点	7.50点	8.13点	64.14点
(3)地域福祉活動の推進	28.57点	12.50点	12.86点	6.25点	6.88点	67.06点
(4)高齢者福祉の推進	40.00点	10.59点	15.00点	6.72点	6.41点	78.72点
(5)障がい者福祉の充実	30.00点	11.00点		6.72点	7.34点	55.06点
(6)社会保障制度の健全な運営	40.00点	14.71点	12.47点	6.56点	7.50点	81.25点
(7)子育て支援の充実	42.50点	28.14点		7.66点	7.34点	85.64点
(8)ひとり親福祉の充実	37.50点	30.00点		6.41点	6.56点	80.47点
(9)消防力と救急体制の充実	33.33点	15.00点	11.64点	7.34点	7.19点	74.50点
(10)防犯対策の推進	31.25点	15.00点	11.88点	7.19点	7.50点	72.82点
(11)危機管理体制の整備	37.50点	15.00点	11.03点	7.66点	7.66点	78.85点
(12)交通安全対策の推進	37.50点	15.00点	15.00点	6.25点	6.25点	80.00点
(13)消費者の安全対策の推進	37.50点	30.00点		7.97点	6.88点	82.35点
(14)相談事業の拡充	41.67点	15.00点	7.50点	6.88点	7.34点	78.39点
(15)農業の振興	32.50点	30.00点		7.81点	7.50点	77.81点
(16)工業の振興	31.25点	30.00点		7.50点	7.03点	75.78点
(17)商業の振興	18.75点	0.00点		5.78点	5.31点	29.84点
(18)良好な就労環境の整備	25.00点	16.56点		5.47点	5.78点	52.81点
(19)観光活動の活発化	31.25点	30.00点		6.88点	6.72点	74.85点
(20)計画的な土地利用の推進	31.25点	28.00点		7.81点	7.19点	74.25点
(21)交通環境の整備	32.50点	15.00点	12.33点	7.97点	8.13点	75.93点
(22)緑と水辺の保全と整備	21.88点	14.68点	15.00点	7.66点	7.50点	66.72点
(23)良好な住環境と市街地形成	18.750点	13.298点	12.637点	7.190点	7.190点	59.07点
(24)安定した上水道の供給	100.00点					100.00点
(25)温暖化防止対策の推進	37.50点	29.19点		6.88点	6.41点	79.98点
(26)快適な生活環境の創造	34.38点	30.00点		6.41点	5.47点	76.26点
(27)循環型社会の形成	37.50点	15.00点	15.00点	7.50点	6.88点	81.88点
(28)幼児教育・保育の充実	43.75点	15.00点	13.30点	8.28点	8.13点	88.46点
(29)質の高い学校教育の推進	34.38点	13.38点	14.51点	7.66点	7.50点	77.43点
(30)社会教育の振興と生涯学習社会の推進	46.88点	15.00点	14.06点	8.91点	8.59点	93.44点
(31)青少年の健全育成	41.67点	7.28点	10.50点	8.28点	8.13点	75.86点
(32)スポーツの振興	40.63点	15.00点	15.00点	8.44点	7.66点	86.73点
(33)文化財の保護と活用	41.67点	30.00点		8.44点	8.28点	88.39点
(34)芸術文化の振興	50.00点	15.00点	15.00点	9.06点	8.44点	97.50点
(35)多文化共生・国際化の推進	30.00点	20.00点		7.19点	6.88点	64.07点
(36)人権の尊重・男女共同参画社会の推進	40.00点	30.00点		7.50点	7.03点	84.53点
(37)地域コミュニティ活動の推進	31.25点	30.00点		7.50点	6.88点	75.63点
(38)情報共有と町民参画の推進	33.33点	15.00点	4.83点	7.66点	7.34点	68.16点
(39)協働のまちづくりの推進	46.88点	8.00点	15.00点	7.66点	7.03点	84.57点
(40)情報通信技術(ICT)の推進	37.50点	30.00点		7.50点	7.50点	82.50点
(41)効率・効果的な行政運営の推進	42.50点	29.73点		7.19点	7.34点	86.76点
(42)財政運営の健全性の確保	28.13点	30.00点		7.50点	7.34点	72.97点
(43)広域行政の推進	45.83点	20.67点		7.34点	7.03点	80.87点

※点数上限が違う箇所があるので縦列の平均点を足しあけても総合平均点とは異なります。

/50or100点 /15or30点 /15点 /10点 /10点 /100点

平均 36.9点 19.2点 11.6点 7.4点 7.2点 **75.93点**

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針1地域で支え合う健康と福祉のまち		基本計画 K P I ①担当課	健康福祉課		
	基本計画	_1総合的な医療サービスの提供		担当及び K P I ②担当課	健康福祉課		
目的	町民誰もが、いつでも、どこでも、安心して適切な医療を受けられる体制を整える。						
P D C A (P D)	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	地域医療体制の確立	健康福祉課	一部取り組んでいる	50	58.3	
	取組内容	医師不足は全国的にも深刻な問題ですが、県内の保健医療圏での偏在が見られ、邑楽館林地区での医師不足は深刻であり、特に産科医に関しては年々減少しています。医療機関への適正受診のすすめや、在宅医療・介護連携の推進に努めました。					
	(2)	高齢者医療の充実	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	医療・介護等の専門職や地域の方々との他職種の協働による地域ケア会議を開催し、個別課題の解決を行いました。退院調整ルールの見直しや委託先の在宅医療・介護連携相談センターたておが中心となり、在宅医療・介護連携の推進を行いました。					
	(3)	救急医療の充実	健康福祉課	一部取り組んでいる	50	50%	
	取組内容	救急医療において、県外や前橋地域への患者の流出もみられますが、中核である公立館林厚生病院が救急の受入れを担っています。救急病院の問合先や休日当番医に関する広報活動に努めました。					
	(4)					点数	
	取組内容						
(5)					29.17		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① (D)	KPI	中核病院である館林厚生病院の常勤医師の確保(小児科)				達成率	
	H32	3.0		単位	人	50.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	1.0	人	1.0	人	100.0%	15
	H29	2.0	人	1.0	人	50.0%	点数
	H30	2.0	人	1.0	人	50.0%	7.50
	H31	3.0	人		人	#N/A	
H32	3.0	人		人	#N/A		
目標② (D)	KPI	中核病院である館林厚生病院の常勤医師の確保(産婦人科)				達成率	
	H32	3.0		単位	人	0.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	1.0	人	0.0	人	0.0%	15
	H29	1.0	人	0.0	人	0.0%	点数
	H30	1.0	人	0.0	人	0.0%	0.00
	H31	2.0	人		人	#N/A	
H32	3.0	人		人	#N/A		
分析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	点数	
	【KPI①②の内容含む】 中核病院である公立館林厚生病院に、常勤の小児科や産科の医師が少ないため、充実が図れておりません。県内でも大学病院がある前橋市を中心とした地域に医師が集中しており、それ以外の地域との顕著な格差が存在しています。特に産科については町内になく、館林市邑楽郡内では、分娩を取り扱う産科は館林市内の1か所のみとなっています。中核病院である公立館林厚生病院にも産科医がいないため、町単独で解決できる問題ではありません。				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 10 C5点 1 D2.5点 0 E0点 0	8.13	
改善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。				解決・改善の捉え方	点数	
	【KPI①②の内容含む】 医師不足は医療圏での問題と捉え、近隣市町で連携をとるとともに、群馬県地域医療支援センターとも協力しながら、群馬県ドクターバンクやその他、群馬県緊急医師確保修学資金制度等、県の医師確保対策を活用しながら引き続き医師確保に努めます。また、医師確保に向けた、大学病院等への要請や働きかけも行います。				A~Eの5段階評価 A10点 4 B7.5点 10 C5点 2 D2.5点 0 E0点 0	7.81	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 52.61点 /100点	
	29.17点 /50点	7.50点 /15点	0.00点 /15点	8.13点 /10点	7.81点 /10点		

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針1地域で支え合う健康と福祉のまち			基本計画	K P I ①担当課 健康福祉課	
	基本計画	2_健康づくりの推進			担当及び	K P I ②担当課 健康福祉課	
目的	町民一人ひとりが健康の大切さを自覚し、自らが進んで健康づくりに取り組み、生涯にわたって健康が維持できる町とする。						
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性			DO			
	(1)	健康意識の普及・啓発	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	70.8	
	取組内容	健康おうら21(健康増進計画・食育推進計画)に基づき、健康意識の普及・啓発に努めました。また、保健センターを拠点に健康ウォーキング、ヨガ、ロコモ予防教室等、各種健康教室の開催などを推進しました。					
	(2)	健康チェック体制の強化	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	生活習慣病予防のため、適切な生活習慣の啓発・指導に努めるとともに、疾病の早期発見・早期治療を目的に、町民の利便性を高めた健診体制の整備を図りました。また、死因原因のトップとなっているがんを早期に発見するため、胃がん・大腸がん検診や女性特有のがん検診など、各種がん検診を推進し、がんに関する知識の普及啓発と健康教育を充実させました。					
	(3)	感染症予防対策の強化	健康福祉課	一部取り組んでいる	50	50%	
	取組内容	各種感染症の情報提供により予防知識の普及・啓発をするとともに、新型インフルエンザなどの新たな感染症について、マニュアルを整備し、発生時に早期対応できる体制の整備を図りました。					
	(4)	精神保健体制の充実	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	こころの健康相談等の相談体制の充実、家庭訪問による課題把握、関係機関との連携強化に努めました。また、自殺予防対策として、自殺予防対策計画を策定し、住民への理解を深めるための自殺予防講演会やゲートキーパー養成講座を開催しました。					
	(5)	健康増進活動の充実	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	35.42	
取組内容	健康増進活動では、誰でも手軽に実践できる「健康ウォーキング教室」を開催し、ウォーキングの普及推進や、高齢者向けには「ますます元気教室」等の介護予防教室の充実に努めました。						
(6)	食育の推進	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75			
取組内容	食に関する知識の普及啓発や食育に関連する教室等の開催により、正しい食習慣からの健康づくりを推進しました。						
(7)							
取組内容							
目標① (D)	KPI	大腸がん検診受診率				<p>前基準での統計数値なので現基準数値とは異なります</p> <p>達成率 87.3%</p> <p>×係数 15</p> <p>点数 13.09</p>	
	H32	35.0		単位	%		
	年度	指標	成果	達成率			
	H28	33.6	%	32.3	%		96.1%
	H29	34.0	%	31.1	%		91.5%
	H30	34.4	%	30.0	%		87.3%
	H31	34.7	%		%		#N/A
H32	35.0	%		%	#N/A		
目標② (D)	KPI	糖尿病による死亡率(人口10万人当たり)				<p>集計時期の関係で、成果数値は前年度実績値となります</p> <p>H26実績22.5人と目標値間の実績値位置で達成率表示</p> <p>達成率 0.0%</p> <p>×係数 15</p> <p>点数 0.00</p>	
	H32	17.0		単位	人		
	年度	指標	成果	達成率			
	H28	18.5	人	15.1	人		100.0%
	H29	18.0	人	19.0	人		77.8%
	H30	17.5	人	22.9	人		0.0%
	H31	17.2	人		人		#N/A
H32	17.0	人		人	#N/A		
分析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	点数	
	<p>【KPI①②の内容含む】</p> <p>がん検診の受診率については、減少傾向にあります。引き続き広報やホームページ等で周知・啓発をしておりますが、未受診者の受診率向上には至っておりません。未受診者が受診しやすい体制整備が課題です。また、食習慣等の生活習慣の乱れから糖尿病を発症し、合併症から人工透析を必要とするなど重症化するケースもみられます。</p>				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 10 C5点 D2.5点 0 E0点 0	7.50	
改善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。				解決・改善の捉え方	点数	
	<p>【KPI①②の内容含む】</p> <p>がんの早期発見と早期治療に努めるため、休日けん診を実施し、また特定年齢のかたに大腸がん無料クーポン券を発行するなどし、がん検診の受診を促進させます。また、糖尿病も含んだ生活習慣病全般の早期発見に努めるため、若年者健診の対象年齢を30歳以上から25歳以上に拡大します。また、データヘルズ計画に基づき異常値放置者や未受診者には家庭訪問をするなど、対策を充実させます。</p>				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 10 C5点 D2.5点 0 E0点 0	8.13	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)
	35.42点 /50点	13.09点 /15点	0.00点 /15点	7.50点 /10点	8.13点 /10点		64.14点 /100点

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針1 地域で支え合う健康と福祉のまち			基本計画 K P I ①担当課	健康福祉課	
	基本計画	3 地域福祉活動の推進			担当及び K P I ②担当課	健康福祉課	
目的	町民誰もが家庭や地域のなかで「その人らしい自立した生活」を送ることができるように、地域での「助け合い」「支え合い」の体制を整える。						
P D C A (P D)	PLAN			DO			
	施策の方向性			担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	地域福祉計画の取組		健康福祉課	一部取り組んでいる	50	57.1
	取組内容	地域福祉計画に基づき、社会福祉協議会や関係機関と協力や協議を行いながら計画を推進しました。					
	(2)	福祉思想の普及・啓発		健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数
	取組内容	広報紙やホームページを活用し、地域福祉や人権に関する広報を行いました。					
	(3)	民生委員・児童委員活動の充実		健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%
	取組内容	毎月の定例会や年4回の視察研修会や郡内民生委員との意見交換会など、積極的に参加しました。また、住民からの相談にも応じ、関係機関との連携を行いました。民生委員・児童委員の活動を紹介する記事を町広報紙に掲載しました。					
	(4)	社会福祉協議会の充実		健康福祉課	一部取り組んでいる	50	点数
	取組内容	健全な財政運営のため、会員への加入促進や共同募金配分金の確保を行いました。「地域福祉活動計画」推進のため、各関係機関と連携をとりながら事業を行いました。					
(5)	NPO・ボランティア活動の育成		健康福祉課	一部取り組んでいる	50	28.57	
取組内容	社会福祉協議会や関係機関と連携しながらボランティア意識の啓発に取り組みました。						
(6)	助け合い運動の推進		健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	28.57	
取組内容	助け合いの精神を町民に呼びかけるため「町民体育祭」で募金活動を行いました。また、日本赤十字社が大規模災害発生時に実施する義援金活動に協力しました。6月1日を基準日として70歳以上のひとり暮らし高齢者を民生委員が訪問し、見守りが行える体制づくりを行いました。						
(7)	避難行動要支援者の行動計画策定		安全安心課	あまり取り組んでいない	25		
取組内容	自主防災組織や関係機関へ名簿提供を行い、支援依頼を行ってはいるが、要支援者の個別計画策定までは至っていない。						
目標① (D)	KPI	ボランティア団体数					達成率
	H32	7.0		単位	団体		83.3%
	年度	指標		成果		達成率	×係数
	H28	5.0	団体	5.0	団体	100.0%	15 点数
	H29	5.0	団体	5.0	団体	100.0%	
	H30	6.0	団体	5.0	団体	83.3%	
	H31	6.0	団体		団体	#N/A	
H32	7.0	団体		団体	#N/A		
目標② (D)	KPI	NPO法人数					達成率
	H32	8.0		単位	法人		85.7%
	年度	指標		成果		達成率	×係数
	H28	6.0	法人	6.0	法人	100.0%	15 点数
	H29	6.0	法人	6.0	法人	100.0%	
	H30	7.0	法人	6.0	法人	85.7%	
	H31	7.0	法人		法人	#N/A	
H32	8.0	法人		法人	#N/A		
分析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	点数	
【KPI①②の内容含む】 いかに多くの町民がボランティア活動やNPO活動に関心を持ち、参加できるような環境整備ができるようにすること。社会福祉協議会が中心となり各種入門講座を開講したり、ボランティアやNPO団体の発掘や育成に努めています。				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	6.25		
改善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。				解決・改善の捉え方	点数	
【KPI①②の内容含む】 引き続き社会福祉協議会と連携し、各種入門講座や研修会・講習会を開催することにより、町民の自主的な福祉活動の促進、ボランティア意識の啓発を図り、既存団体の拡充及び増加につなげていく。				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	6.88		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 67.06点 /100点	
	28.57点 /50点	12.50点 /15点	12.86点 /15点	6.25点 /10点	6.88点 /10点		

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針1地域で支え合う健康と福祉のまち		基本計画 K P I ①担当課	健康福祉課		
	基本計画	4.高齢者福祉の推進		担当及び K P I ②担当課	健康福祉課		
目的	高齢者が住み慣れた地域で、安心して元気に暮らし続けることのできるように、保健・福祉・医療の環境を整える。						
P D C A (P D)	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	総合的な高齢者福祉対策の推進	健康福祉課	計画調書通り取り組んでいる	100	80.0	
	取組内容	「第6期邑楽町高齢者保健福祉計画」に基づき、平成29年度に3年間(平成30年度から令和2年度)の「第7期邑楽町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定しました。地域包括支援センターを中心に高齢者の、保健・福祉・医療の向上に努めています。					
	(2)	介護予防の推進	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	運動指導士による運動指導や介護予防の指導・助言をしますます元気教室や、行政区サロン等の支援を行いました。					
	(3)	生きがい対策の推進	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	高齢者の生きがいと就業機会の提供を目的としており、公共の公園等管理や民間の植木剪定や除草などを行っている。家に閉じこもりがちな高齢者の生きがいを創出するための生きがい活動通所支援事業として、町内2つの団体に委託しました。					
	(4)	高齢者福祉施設整備の推進	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	福祉センター寿荘の浴槽ろ過装置修繕及び男子更衣室空調設備交換を行い、施設の整備を行いました。					
(5)	地域支援事業の充実	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	40.00		
取組内容	緊急通報体制の充実。安否確認を兼ねた配食サービスを行いました。地域包括支援センターでは高齢者に対する総合的な相談や支援、権利擁護研修会や後見人制度の町長申立を行うなど権利擁護の援助に努めました。認知症サポーター養成講座を一般・中学生・小学生にむけて開催。認知症の方やその家族等が集える場所としてオレンジカフェを配置しました。						
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① (D)	KPI	高齢者活力センター登録者数				達成率	
	H32	200.0		単位	人	70.6%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	130.0	人	126.0	人	96.9%	15
	H29	140.0	人	117.0	人	83.6%	点数
	H30	160.0	人	113.0	人	70.6%	10.59
	H31	180.0	人		人	#N/A	
H32	200.0	人		人	#N/A		
目標② (D)	KPI	生きがい活動通所事業所数				達成率	
	H32	3.0		単位	か所	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	2.0	か所	2.0	か所	100.0%	15
	H29	2.0	か所	2.0	か所	100.0%	点数
	H30	2.0	か所	2.0	か所	100.0%	15.00
	H31	3.0	か所		か所	#N/A	
H32	3.0	か所		か所	#N/A		
分析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	点数	
	【KPI①】若年会員の獲得を目指して、会員の拡大を図ったが、十分な成果が出せなかった。 【KPI②】継続的な運営ができるようにどのような支援ができるかが課題であった。				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	6.72	
改善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。				解決・改善の捉え方	点数	
	【KPI①】事業について、広く住民に周知するとともに、会員拡大を図るため、社協だよりやホームページ等を活用していく。また、邑多福まつりやヤングフェスティバル等に参加して、啓発を図る。既存会員に対して、事故防止と健康維持に取組み離脱防止に努めていく。 【KPI②】事業運営が継続的にできる体制づくりを進めていく。				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	6.41	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≒	総合評価(点数)
	40.00点 /50点	10.59点 /15点	15.00点 /15点	6.72点 /10点	6.41点 /10点		78.72点 /100点

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり				
	基本方針	基本方針1地域で支え合う健康と福祉のまち		基本計画 K P I ①担当課 健康福祉課		
	基本計画	5.障がい者福祉の充実		担当及び K P I ②担当課		
目的	障がいを持つ人が、地域のなかで安心して自立した生活を送り、社会活動に参加できる環境を整える。					
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO			
	(1)	保健・医療の充実	健康福祉課	一部取り組んでいる	50	60.0
	取組内容	障がい者やその家族が在宅サービスを利用できるよう、また、選択肢の幅が広がるよう、他職種が連携したケース検討会等を実施しました。				
	(2)	福祉サービスの充実	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数
	取組内容	・重度心身障害者(児)や高齢重度障害者の生活が安定するようなサービスを実施しました。 ・重度心身障害者(児)や高齢重度障害者の生活環境が改善するようなサービスを実施しました。				
	(3)	広報活動の推進とボランティア活動の支援	健康福祉課	一部取り組んでいる	50	50%
	取組内容	広報活動の推進とボランティア活動の支援に関しては、社会福祉協議会で実施しました。(広報誌やパンフレット等により広報・啓発、ボランティア体験の機会の提供)				
	(4)	社会参加の促進	健康福祉課	一部取り組んでいる	50	点数
	取組内容	障害の早期発見・早期対応のための助言等の支援に努めました。 ・障害者雇用・スポーツ・レクリエーション・文化活動の促進に関しては、社会福祉協議会で実施しました。 ・障害者優先調達推進法に基づき、邑楽町障害者就労施設等からの物品等の調達方針を定めました。				
	(5)	社会環境の整備	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	30.00
取組内容	(じん臓機能障害者等を含む)障害者や高齢者等に対して、交通費を助成しました。					
(6)						
取組内容						
(7)						
取組内容						
目標① (D)	KPI	就労移行支援(毎月の実利用人数)				達成率
	H32	7.0		単位	人	36.7%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	5.0	人	1.8	人	36.0%
	H29	5.0	人	1.6	人	32.0%
	H30	6.0	人	2.2	人	36.7%
	H31	6.0	人		人	#N/A
H32	7.0	人		人	#N/A	
						11.00
目標② (D)	KPI					達成率
	H32			単位		—
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28					100.0%
	H29					100.0%
	H30					0.0%
	H31					0.0%
H32					0.0%	
						—
分析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】本人の状態により、利用が困難になったり、就労継続支援に移行する例があった。潜在化している社会参加を拒否し孤立している者等の掘り起こしを図る必要がある。			課題の捉え方	点数	
				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 5 C5点 D2.5点 0 E0点 0	6.72	
改善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】本人の状態や状況を確認し、無理の無い支援計画の元に利用を開始するとともに、特別支援学校・高等特別支援学校・相談支援事業所との連携を密にすることで、利用者の増加を図る。本人やその家族に就労移行支援等の障害福祉サービスの支援があることをホームページや広報誌により周知し、利用促進を図る。			解決・改善の捉え方	点数	
				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 7 C5点 D2.5点 0 E0点 0	7.34	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 55.06点 /100点
	30.00点 /50点	11.00点 /30点	— 一点	6.72点 /10点	7.34点 /10点	

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり				
	基本方針	基本方針1地域で支え合う健康と福祉のまち		基本計画 KPI①担当課 住民課		
	基本計画	6.社会保障制度の健全な運営		担当及び KPI②担当課 住民課		
目的	社会保障制度を健全かつ適正に運用し、町民誰もが生涯、安心して自立した生活を維持できる環境を整える。					
P D C A (P D)	PLAN		DO			
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	国民健康保険の健全な運用	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	80.0
	取組内容	第2期データヘルス計画(平成30~令和5年)策定時に把握した町の健康課題に即した保健事業を展開した。課題のレベルに合わせ、健診結果異常値放置者対策、重症化手前の者への早期介入など広範囲の事業展開を行った。また、人間ドック助成金の増額を実施した。				
	(2)	国民年金制度の充実	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数
	取組内容	国民年金の加入手続きや保険料免除・納付猶予などの諸手続については、年金事務所とも協力・連携をとりながら的確に行うことができた。また、制度の理解と普及を促進するため、毎月「広報おうら」に必要な情報を掲載した。				
	(3)	生活困窮者の自立へ向けた支援の充実	健康福祉課	計画調書通り取り組んでいる	100	50%
	取組内容	生活困窮者の相談については、社会福祉協議会や館林保健福祉事務所とも連携を取りながら早急な対応を行いました。また食糧支援を実施する団体と連携し、生活困窮者へ食料の提供を行いました。				
	(4)	後期高齢者医療制度の適正な運営	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数
	取組内容	平成28年度に開始した低所得者層への制度周知として、入院時の食事代を軽減できる「限度額適用・標準負担額減額認定証」の勧奨を継続して行った。同時に、制度改正に伴い、現役並み所得者層への「限度額適用認定証」の勧奨も行った。				
(5)	介護保険制度の適正な運営	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	40.00	
取組内容	広報紙やパンフレットを活用し、介護保険制度に関する情報提供を行いました。介護認定審査会の適切な運営、実地指導を行うなど事業者に対する指導・助言を適宜行いました。					
(6)						
取組内容						
(7)						
取組内容						
目標① (D)	KPI	特定健診受診率(国民健康保険)				達成率
	H32	60.0		単位	%	98.1%
	年度	指標	成果	達成率	×係数	
	H28	54.5	%	56.8	%	100.0%
	H29	56.0	%	57.1	%	100.0%
	H30	57.5	%	56.4	%	98.1%
	H31	59.0	%		%	#N/A
H32	60.0	%		%	#N/A	
						15
						14.71
目標② (D)	KPI	特定健診受診率(後期高齢者医療保険)				達成率
	H32	60.0		単位	%	83.1%
	年度	指標	成果	達成率	×係数	
	H28	48.0	%	46.9	%	97.7%
	H29	51.0	%	43.4	%	85.1%
	H30	54.0	%	44.9	%	83.1%
	H31	57.0	%		%	#N/A
H32	60.0	%		%	#N/A	
						15
						12.47
分析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①②の内容含む】 目標①は、健診期間が8月に多く設定された影響か受診率が下がってしまった。法定報告確定時期の都合で、目標①は前年度(H29)、目標②は当年度(H30)の受診率を使用。				課題の捉え方	点数
					A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	6.56
改善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①②の内容含む】 次年度は、例年同様7月中に終了するように設定する。更に、健診未受診者への受診勧奨事業を開始する。受診勧奨は、対象や手法を変えながら継続する。				解決・改善の捉え方	点数
					A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.50
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 81.25点 /100点
	40.00点 /50点	14.71点 /15点	12.47点 /15点	6.56点 /10点	7.50点 /10点	

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針2安心して子どもを産み育てられるまち		基本計画 K P I ①担当課 健康福祉課			
	基本計画	7.子育て支援の充実		担当及び K P I ②担当課			
目的	家庭や地域において、安心して子どもを産み育てることのできる環境を整える。						
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	安心して出産できる支援の充実	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	85.0	
	取組内容	母子健康手帳発行時、妊婦の経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康診査受診票14回分と新生児聴覚検査受診票を交付するとともに、母親の仲間づくりと父親の育児参加を目的とした両親学級を開催しました。また、産後の育児不安や母体に関する悩み等を軽減するため、産後ケア事業を実施し支援の充実を図りました。					
	(2)	子育て環境の充実	子ども支援課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	保育園等の延長保育や幼稚園等における預かり保育など継続し、また認定こども園を設置して定員増を行うことで保育ニーズの対応を行った。保育資質の向上のための研修や保育士の確保に努めた。					
	(3)	放課後児童クラブ・放課後子ども教室の充実	子ども支援課(生涯)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	放課後児童クラブでは、運営状況の調査を行い、公営施設では老朽化する遊具の修繕等を行い環境整備に努めた。また、中央児童館・東児童館の外灯設置を行い、利用者の安全性の向上を図った。民間の学童保育所へは環境の改善が行えるよう補助内容の充実を図った。また、くらかけ広場への施設整備補助を行い、定員の拡充を行った。					
	(4)	地域ぐるみの子育て支援の推進	子ども支援課(健福)	計画調書通り取り組んでいる	100	点数	
	取組内容	育児に関する情報の提供や交流の場である地域子育て支援センターや身近な場所で子育て支援の情報提供などを行う利用者支援事業の継続実施。ファミリーサポートセンターの年間を通じて開所し、会員講習会を実施して会員の確保に努めた。					
	(5)	子ども医療制度の充実	住民課	計画調書通り取り組んでいる	100	42.50	
取組内容	中学生までの医療費無料化に加え、町単独事業として平成28年4月診療分から高校生世代の入院のみ無料化を開始し、継続した。						
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① (D)	KPI	合計特殊出生率				<p>集計時期の関係で、成果数値は前年度実績値となります</p> <p>(人) 指標 成果 達成率</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p>	
	H32	1.3		単位	人		
	年度	指標	成果	達成率			
	H28	1.25	人	1.19	人		95.2%
	H29	1.27	人	1.28	人		100.0%
	H30	1.29	人	1.21	人		93.8%
	H31	1.31	人		人		#N/A
H32	1.33	人		人	#N/A		
目標② (D)	KPI					<p>達成率</p> <p>—</p> <p>×係数</p> <p>—</p> <p>点数</p> <p>—</p>	
	H32			単位			
	年度	指標	成果	達成率			
	H28						#N/A
	H29						#N/A
	H30						#N/A
	H31						#N/A
H32					#N/A		
分析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数		
	【KPI①】両親学級参加者を増やせるよう母子手帳交付時及び対象者に通知を発送するなど参加を促進した。また、産後の不安解消が図れるよう産後ケアなどの支援の充実を図り、また、両親学級修了者の会の内容の充実にも努めた。しかしながら、育児不安を抱える家庭や養育力不足、軽度の虐待の疑いのある家庭については支援強化が必要。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.66		
改善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数		
	【KPI①】養育力不足や、虐待の疑いのある家庭については、子ども支援課や関係機関と早期の段階で情報共有することにより、支援内容を検討し、子育て支援サービスの紹介や利用により支援体制を強化する。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.34		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 85.64点 /100点	
	42.50点 /50点	28.14点 /30点	— 一点	7.66点 /10点	7.34点 /10点		

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり				
	基本方針	基本方針2安心して子どもを産み育てられるまち		基本計画 KPI①担当課	子ども支援課	
	基本計画	8.ひとり親福祉の充実		担当及び	KPI②担当課	
目的	ひとり親家庭が自立して、安定した生活を送ることができる環境を整える。					
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO			
	(1)	就業支援の充実	子ども支援課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	75.0
	取組内容	児童扶養手当現況届時や新規申請、生活相談において母子家庭等就業・自立支援センター作成のリーフレットを活用し情報提供を行った。また、児童扶養手当現況届時には、群馬県母子寡婦福祉協議会による就業などの相談コーナーを設置した。ひとり親家庭の子どもの保育所入所申込み時の優先度を高めたり、学童保育所に対しての保護者負担軽減のための助成も継続的に実施。				
	(2)	相談体制の充実	子ども支援課(健福)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数
	取組内容	民生委員・児童委員と連携を図り、その状況に応じて相談に適切に対応できるよう努めた。				
	(3)	生活支援の充実	子ども支援課(住民・健康・健福)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%
	取組内容	児童扶養手当などホームページによる手続き等の情報提供や、窓口の手続きにおいて詳細な説明に努め、適正な事務処理を実施。母子・父子家庭福祉医療費については、所得制限を設けず医療給付が受けられるよう負担軽減を実施。また、入学進学支度金支給や町営住宅入居希望について特例制度による優遇抽選も継続実施。				
	(4)					37.50
	取組内容					
	(5)					37.50
取組内容						
(6)					37.50	
取組内容						
(7)					37.50	
取組内容						
目 標 ① (D)	KPI	福祉医療費受給者のうち所得税課税対象者の割合				達成率
	H32	32.0		単位	%	100.0%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	30.4	%	32.4	%	100.0%
	H29	30.8	%	34.2	%	100.0%
	H30	31.2	%	35.3	%	100.0%
	H31	31.6	%		%	#N/A
H32	32.0	%		%	#N/A	
						30
						30.00
目 標 ② (D)	KPI					達成率
	H32			単位		—
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28					100.0%
	H29					100.0%
	H30					100.0%
	H31					0.0%
H32					0.0%	
						—
分 析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】就労相談、就労支援を利用する人が少なかった。			課題の捉え方	点数	
改 善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】県の母子家庭等就業・自立支援センター及びハローワーク館林と連携を図り、より相談しやすい環境づくりをする。			解決・改善の捉え方	点数	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 80.47点 /100点
	37.50点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	6.41点 /10点	6.56点 /10点	

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針3災害に強く犯罪や事故の少ない安全なまち			基本計画 K P I ①担当課	安全安心課	
	基本計画	9.消防力と救急体制の充実			担当及び K P I ②担当課	安全安心課	
目的	町民の生命、財産を守るために、消防及び救急・救助の体制を整える。						
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	火災予防の推進	担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	取組内容	消防署・消防団によるパレードや秋季点検、防火ポスターの掲示等により火災予防の普及・啓発に努めた。			75	66.7	
	(2)	消防力の充実・強化	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75		×係数
	取組内容	消防団のポンプ車を順次更新するとともに、鶉地内に耐震性貯水槽を新設し、消防設備の充実を図った。また、地区の防災訓練に消防団員が参加するなど、自主防災組織との連携も強化できた。				50%	
	(3)	救急・救助体制の整備	安全安心課	一部取り組んでいる	50		
	取組内容	地区の防災訓練時に、救急隊員からAEDの操作方法を学び、町民による応急救護体制の強化が図れた。				33.33	
	(4)						点数
	取組内容						
	(5)						
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① (D)	KPI	公共施設のAEDの設置数				達成率	
	H32	23.0		単位	か所	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	21.0	か所	21.0	か所	100.0%	15.00
	H29	21.0	か所	25.0	か所	100.0%	
	H30	22.0	か所	23.0	か所	100.0%	
	H31	22.0	か所		か所	#N/A	
H32	23.0	か所		か所	#N/A		
					15		
達成率					100.0%		
目標② (D)	KPI	住宅用火災警報器の普及率				達成率	
	H32	80.0		単位	%	77.6%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	63.0	%	59.0	%	93.7%	11.64
	H29	67.0	%	56.4	%	84.2%	
	H30	71.0	%	55.1	%	77.6%	
	H31	75.0	%		%	#N/A	
H32	80.0	%		%	#N/A		
					15		
達成率					77.6%		
分析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】AEDの設置数について、施設の統廃合により若干減少したものの、目標数は達成できているため、引き続き施設への設置を促していく。 【KPI②】住宅用火災警報器については、設置が義務化されたものの罰則がないため、特に既存住宅への設置が進まない。			課題の捉え方	点数		
改善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①②の内容含む】 今後も消防署と連携し広報や啓発活動を行い、設置の普及に努めていく。			解決・改善の捉え方	点数		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)	
	33.33点 /50点	15.00点 /15点	11.64点 /15点	7.34点 /10点	7.19点 /10点		74.5点 /100点

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針3災害に強く犯罪や事故の少ない安全なまち		基本計画 K P I ①担当課	安全安心課		
	基本計画	10.防犯対策の推進		担当及び K P I ②担当課	安全安心課		
目的	町民の生命、財産を守り、安全で安心して暮らせる地域社会とするために、犯罪や非行を防止する体制や環境を整える。						
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	防犯意識の啓発	担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	取組内容	群馬県・大泉警察署・千代田町・大泉町と連携し、大型ショッピングセンターで街頭防犯啓発活動を行い、特殊詐欺の防止や地域犯罪の抑止を呼びかけた。			50	62.5	
	(2)	防犯体制の充実	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75		×係数
	取組内容	学校や警察から不審者情報があった際は、すみやかに「おうらお知らせメール」を送信し、町民へ注意喚起を行った。また、安全安心まちづくり推進協議会の総会時に、大泉警察署生活安全課署員を講師として防犯講座を行った。			75	50%	
	(3)	防犯活動の推進	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる			75
	取組内容	PTAや自治会、青少年育成推進員連絡協議会等を中心に、登下校時の見守り活動を積極的に行った。また、地区の防犯パトロールを推進するため、パトロールベストと帽子を配布した。			50	点数	
	(4)	犯罪や非行を防止する環境整備の推進	安全安心課	一部取り組んでいる			50
	取組内容	本中野駅前駐輪場の防犯カメラを最新機種に更新し、犯罪抑止に努めた。また、空家について、都市建設課と連携して現地調査を行い、ランク別に集計を行った。			50	31.25	
	(5)						
取組内容				50	31.25		
(6)							
取組内容				50	31.25		
(7)							
取組内容				50	31.25		
(8)							
目標① (D)	KPI	防犯灯設置基数				<p>(基) 指標 成果 達成率</p> <p>2100.0 2000.0 1900.0 1800.0</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p> <p>100.0% 50.0% 0.0%</p>	
	H32	2000.0		単位	基		
	年度	指標	成果	達成率			
	H28	1900.0	基	1926.0	基		100.0%
	H29	1925.0	基	1949.0	基		100.0%
	H30	1950.0	基	1973.0	基		100.0%
	H31	1975.0	基		基		#N/A
	H32	2000.0	基		基		#N/A
目標② (D)	KPI	刑法犯認知件数				<p>(件) 指標 成果 達成率</p> <p>200.0 150.0 100.0</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p> <p>100.0% 0.0%</p> <p>達成率の基準値を策定当初現状値178件に設定</p>	
	H32	140.0		単位	件		
	年度	指標	成果	達成率			
	H28	168.0	件	140.0	件		100.0%
	H29	161.0	件	145.0	件		100.0%
	H30	154.0	件	159.0	件		79.2%
	H31	147.0	件		件		#N/A
	H32	140.0	件		件		#N/A
分析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数		
	【KPI①②の内容含む】 近年、高齢者をターゲットにした特殊詐欺被害が多発しており、防犯灯や防犯カメラだけでは防げない犯罪が増加傾向にある。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.19		
改善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数		
	【KPI①②の内容含む】 消費生活センターや健康福祉課と連携し、高齢者の特殊詐欺被害を防ぐため、平成31年度より開始予定の特殊詐欺対策機器の購入費補助制度を周知していきたい。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.50		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 72.82点 /100点	
	31.25点 /50点	15.00点 /15点	11.88点 /15点	7.19点 /10点	7.50点 /10点		

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり				
	基本方針	基本方針3災害に強く犯罪や事故の少ない安全なまち		基本計画 KPI①担当課	総務課	
	基本計画	11_危機管理体制の整備		担当及び KPI②担当課	安全安心課	
目的	台風や豪雨及び地震などの災害から町民の生命、財産を守るため、災害予防や被害抑制を図り、発災時に迅速かつ的確に対応できる体制を整える。					
P D C A (P D)	PLAN		DO			
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	地域の防災力の向上	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	75.0
	取組内容	公共施設の耐震化は、すべて終了している。防災訓練を行う自主防災組織が増えており、消火訓練や救出訓練、AEDの操作方法を積極的に学ぶ意識が感じられ、防災意識の向上が図られている。町では、公助の観点から、備蓄品を提供し、訓練をサポートしている。				
	(2)	災害応急体制の整備	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数
	取組内容	災害時の避難所で有効となる段ボール製品(段ボールベッド)について、業者と協定を結んだ。				
	(3)	防災関連計画の策定	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%
	取組内容	「邑楽町地域防災計画」について、避難場所や要配慮者施設等の修正を行い、最新のデータに更新した。また、平成30年2月に全戸配布した「防災マップ」について、さらなる周知に努めた。平成30年8月に「邑楽町業務継続計画」を策定した。				
	(4)					点数
	取組内容					
(5)					37.50	
取組内容						
(6)						
取組内容						
(7)						
取組内容						
目 標 ① (D)	KPI	公共施設の耐震化率				達成率
	H32	100.0		単位	%	100.0%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	98.0	%	98.3	%	100.0%
	H29	98.0	%	100.0	%	100.0%
	H30	98.0	%	100.0	%	100.0%
	H31	98.0	%		%	#N/A
H32	100.0	%		%	#N/A	
						15
						15.00
目 標 ② (D)	KPI	自主防災組織における防災訓練実施率				達成率
	H32	30.0		単位	%	73.5%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	10.0	%	11.8	%	100.0%
	H29	15.0	%	11.8	%	78.7%
	H30	20.0	%	14.7	%	73.5%
	H31	25.0	%		%	#N/A
H32	30.0	%		%	#N/A	
						15
						11.03
分 析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】躯体については、すべての公共施設において耐震基準を満たしている。 【KPI②】防災行政無線の整備や公共施設の耐震化などハード面でできることはほぼ完了しつつあると思うが、実際の災害時に住民が避難してくれるか、避難所として施設が利用できるか、避難所の運営や災害対策本部の設置など速やかに行えるかなど、未だ大災害に遭ったことがないため多くの不安がある。				課題の捉え方	点数
					A~Eの5段階評価 A10点 3 B7.5点 12 C 5点 0 D2.5点 1 E 0点 0	7.66
改 善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】躯体以外の部分について、耐震関係上危険な箇所(ロッカー、家具、ガラス等)などを、施設管理者と共に家具の固定を行うなど二次被害の削減に努めていく。 【KPI②】災害の実情に合わせた訓練の必要性和「自分の身は自分で守る」という意識の向上を図るため、自主参集訓練の実施や自主防災組織による防災訓練のバックアップなど、ソフト面から町の防災力を高めていきたい。				解決・改善の捉え方	点数
					A~Eの5段階評価 A10点 5 B7.5点 8 C 5点 2 D2.5点 1 E 0点 0	7.66
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)
	37.50点 /50点	15.00点 /15点	11.03点 /15点	7.66点 /10点	7.66点 /10点	

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針3災害に強く犯罪や事故の少ない安全なまち		基本計画 K P I ①担当課	安全安心課		
	基本計画	_12交通安全対策の推進		担当及び K P I ②担当課	安全安心課		
目的	交通事故から町民の尊い命を守るため、人々が安全な環境で安全な行動をする社会を実現する。						
P D C A (P D)	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	交通安全意識の高揚	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	75.0	
	取組内容	年4回の交通安全運動期間を中心に、交通指導車による移動指導、パンフレットの回覧、大泉警察署管内合同の街頭指導を実施し、交通安全意識の向上を図った。					
	(2)	交通安全対策の強化	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	幼稚園・保育園・こども園・小学校にて交通教室を実施し、交通ルールやマナーの向上を図った。また、毎月1日に交通指導員による街頭指導を実施し、通学路における交通事故防止に努めた。					
	(3)	安全な交通環境の整備	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	行政区からの要望や通学路安全推進会議を基に、道路反射鏡やグリーンベルト、ポールコーン等を施工し、通学路や交差点付近の交通環境の改善に努めた。					
	(4)					点数	
	取組内容						
(5)					37.50		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① (D)	KPI	交通事故による年間の24時間以内の死者数				現況値を基準に3人0%2人33%1人66%0人100%の4段階評価とする	達成率
	H32	0.0		単位	人		100.0%
	年度	指標	成果	達成率			×係数
	H28	0.0	人	1.0	人	66.7%	15
	H29	0.0	人	1.0	人	66.7%	点数
	H30	0.0	人	0.0	人	100.0%	15.00
	H31	0.0	人		人	#N/A	
H32	0.0	人		人	#N/A		
目標② (D)	KPI	グリーンベルト延長					達成率
	H32	20.0		単位	Km		100.0%
	年度	指標	成果	達成率			×係数
	H28	16.0	Km	18.2	Km	100.0%	15
	H29	17.0	Km	19.2	Km	100.0%	点数
	H30	18.0	Km	20.7	Km	100.0%	15.00
	H31	19.0	Km		Km	#N/A	
H32	20.0	Km		Km	#N/A		
分析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①②の内容含む】 町内至る所の外側線や交差点マークが消えかかっており、現状の予算では修繕が間に合わない。			課題の捉え方	点数	6.25	
改善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①②の内容含む】 都市建設課と連絡を取り合いながらし、路面の舗装だけでなく、併せてラインの施工も行っていく。			解決・改善の捉え方	点数	6.25	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≒	総合評価(点数)
	37.50点 /50点	15.00点 /15点	15.00点 /15点	6.25点 /10点	6.25点 /10点		80点 /100点

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針3災害に強く犯罪や事故の少ない安全なまち			基本計画	KPI①担当課 商工振興課	
	基本計画	13.消費者の安全対策の推進			担当及び	KPI②担当課	
目的	町民の利益を守ることで、安心して安全で豊かな消費生活を営むことができる町とする。						
P D C A (P D)	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	消費者の権利の尊重と自立の支援	商工振興課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	75.0	
	取組内容	消費生活相談員は、スキルアップのため研修に積極的に参加しており、相談者に対し誠意を持った対応をおこなっている。また、各種団体と連携を図り、必要に応じてあっせんなどをおこない問題の解決を図っている。					
	(2)	消費者の意識と知識の向上	商工振興課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	地域に出向いておこなっている出前講座等を通じ、悪質商法や特殊詐欺の手口などに関する最新情報を提供して、被害の未然防止に努めている。また、お祭りなどのイベント時の会場でも啓発活動をおこなっている。					
	(3)	情報提供の推進	商工振興課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	広報紙・お知らせメール・リーフレットなどを活用して、消費者への注意喚起と啓発に努めている。また、消費者トラブルの対策に役立つ「くらしの豆知識」を邑楽町独自デザインで作成し、成人式で配布した。					
	(4)					点数	
	取組内容						
(5)					37.50		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① (D)	KPI	消費者講座などへの参加者数				達成率	
	H32	2500.0		単位	人	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	2400.0	人	3241.0	人	100.0%	30
	H29	2420.0	人	2866.0	人	100.0%	点数
	H30	2440.0	人	2940.0	人	100.0%	30.00
	H31	2470.0	人		人	#N/A	
H32	2500.0	人		人	#N/A		
目標② (D)	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28				#N/A	—	
	H29				#N/A	—	
	H30				#N/A	—	
	H31				#N/A	—	
H32				#N/A	—		
分析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数		
	【KPI①】架空請求はがきや訪問販売に関する相談が高齢者から多く寄せられている。高齢者へのなお一層の啓発が必要であるとともに、特殊詐欺の手口も巧妙化しているため最新の知見を学ぶことが必要である。また、成人年齢の引き下げ等も鑑みた学校等への出前講座も必要であると考え。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.97		
改善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数		
	【KPI①】最新の知見を学ぶため、各種研修への参加は必須である。学校等への講座は、他の消費生活センターの事例などを参考に学校教育担当部署に働きかけて行く。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	6.88		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 82.35点 /100点	
	37.50点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	7.97点 /10点	6.88点 /10点		

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標1誰もが健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	基本方針	基本方針3災害に強く犯罪や事故の少ない安全なまち		基本計画 K P I ①担当課 担当及び	住民課		
	基本計画	14.相談事業の拡充		K P I ②担当課	住民課		
目的	町民の生活上の様々な不安や悩みについて不安解消や問題解決が図れる環境を整える。						
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	法律相談事業の推進	住民課	取組状況 計画調書通り取り組んでいる	進捗 100	進捗平均 83.3	
	取組内容	弁護士による定例の法律相談については相談時間などの実施方法を検討しながら月1回実施し、群馬弁護士会による無料法律相談を10月に1回実施した。また、女性特有の相談(離婚・DV等)に対して相談者が相談しやすい場を提供するため、大泉町・千代田町・邑楽町3町合同による女性のための女性弁護士による法律相談を毎月1回実施した。					
	(2)	住民相談事業の推進	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	人権相談・行政相談については人権相談員を1名増員し4名を配置、行政相談員1名を配置し幅広い相談内容に適切に対応できるよう月1回実施した。また他の相談事業や関係機関と綿密な連携を図りながら相談体制の強化に努めた。					
	(3)	相談事業の周知	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	相談事業推進のため、広報紙やホームページ等を活用した定例相談事業の周知を実施した。					
	(4)					点数 41.67	
	取組内容						
	(5)						
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① (D)	KPI	法律相談開催数				<p>H29は、3町合同で女性専用相談会を10月から半年実施+0.5回</p> <p>④ 指標 成果 達成率</p> <p>4.0 2.0 0.0</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p> <p>100.0% 50.0% 0.0%</p>	
	H32	2.0		単位	回		
	年度	指標	成果	達成率			
	H28	2.0	回	1.0	回		50.0%
	H29	2.0	回	1.5	回		75.0%
	H30	2.0	回	2.0	回		100.0%
	H31	2.0	回		回		#N/A
H32	2.0	回		回	#N/A		
目標② (D)	KPI	人権行政相談開催数				<p>④ 指標 成果 達成率</p> <p>5.0 0.0</p> <p>H28 H29 H30 H31 H32</p> <p>100.0% 0.0%</p>	
	H32	2.0		単位	回		
	年度	指標	成果	達成率			
	H28	2.0	回	1.0	回		50.0%
	H29	2.0	回	1.0	回		50.0%
	H30	2.0	回	1.0	回		50.0%
	H31	2.0	回		回		#N/A
H32	2.0	回		回	#N/A		
分析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数		
	【KPI①②の内容含む】 定例法律相談が町民に周知されたため、相談者が増加傾向にある。30年度相談件数は87件であるが、月によってはキャンセル待ちが発生する状況であった。女性のための女性弁護士による法律相談は月1回実施したが相談件数72件のうち、邑楽町の相談件数は27件で全体の37.5%である。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 10 C5点 D2.5点 2 E0点 0	6.88		
改善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数		
	【KPI①②の内容含む】 法律相談については来年度以降も月1回の相談を予定しているが、DV被害や性暴力被害が増加している現在、女性の悩みに向き合いながら女性が相談しやすい相談体制の充実を図る必要があるため、定例法律相談のほか、女性のための女性弁護士による法律相談も月1回の相談を予定している。令和元年度から年に3回土曜日の相談日を設ける予定。			A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 8 C5点 D2.5点 1 E0点 0	7.34		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 78.39点 /100点	
	41.67点 /50点	15.00点 /15点	7.50点 /15点	6.88点 /10点	7.34点 /10点		

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり						
	基本方針	基本方針4活力ある産業を育み働きやすいまち		基本計画 K P ①担当課	農業振興課			
	基本計画	15 農業の振興		担当及び K P ②担当課				
目的	農業の持つ多面的機能の保全・活用を進め、産業として自立できる農業経営の安定を確立する。							
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO					
	(1)	担い手の育成	農業振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	65.0		
	取組内容	中小農家を中心とした個別の営農形態から、認定農業者や認定新規就農者、法人への転換を働きかけを行い、認定農業者が6名増となった。現在活動している邑楽町農業青年会議の活動を支援するとともに、新規就農者情報交換や交流の場の提供に努め、新規就農者の参加を促進した。また、認定農業者協議会の研修会や会員相互の交流等を支援し、地域農業のさらなる発展を推進した。						
	(2)	持続可能な農業経営の確立	農業振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	×係数		
	取組内容	・前年度に引き続き、総合農政推進資金、農業近代化資金の融資に対し、利子補給を行った。農業制度資金の融通の円滑化と農業経営の安定化を支援した。・昨年に引き続き、認定農業者の認定を働きかけ、新たに6名の認定農業者が誕生。地域の中心となる経営体の育成・確保を行った。・地域農業を守っていくための人・農地プランについて、新たに秋妻地区のプランを作成。より地域の実情に合ったものを作成した。						
	(3)	農産物のブランド化と6次産業化の推進	農業振興課	一部取り組んでいる	50	50%		
	取組内容	地方創生加速化交付金の活用により、平成29年度よりあいあいセンターにて毎週水曜日に「農村レストラン」を開店している。新メニューなどの工夫により、地元農産物利用の料理の提供及び地元農産物のアピールが図れた。農産物のブランド化については、JA等の助言を元に、引き続き検討中である。						
	(4)	地産地消やグリーンツーリズムの推進	農業振興課	一部取り組んでいる	50	点数		
	取組内容	学校給食での地元農産物の利用の継続。更には、あいあいセンターにて農村レストランが開店し地元農産物をふんだんに使用したランチ提供ができ、地産地消が推進できた。グリーンツーリズムについては、未実施となりました。						
	(5)	農村環境の保全と改善	農業振興課	概ね計画通り取り組んでいる	75	32.50		
取組内容	有害鳥獣被害防止策として猟友会等と連携し対応。農作物への被害軽減を図った。農業用道路(町道)の整備については、国庫及び県単補助を活用し順次進めた(担当:都市建設課)。農業農村の有する多面的機能の維持・発揮のため、多面的機能支払交付金を活用して継続的に取り組めた。							
(6)								
取組内容								
(7)								
取組内容								
目標① (D)	KPI	認定農業者数					達成率	
	H32	120.0	単位	人			100.0%	
	年度	指標	成果	達成率			×係数	
	H28	105.0	人	107.0	人		100.0%	30
	H29	110.0	人	112.0	人		100.0%	点数
	H30	113.0	人	118.0	人		100.0%	
	H31	115.0	人		人		#N/A	30.00
H32	120.0	人		人	#N/A			
目標② (D)	KPI						達成率	
	H32		単位				—	
	年度	指標	成果	達成率			×係数	
	H28				#N/A		1.0	—
	H29				#N/A		100.0%	—
	H30				#N/A		0.0%	—
	H31				#N/A			
H32				#N/A				
分析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】農業従事者の高齢化、後継者不足など、深刻な状況である。農業者人口の減少は、農業の衰退だけでなく、過疎化の進展や農村地域社会の崩壊、国土保全の観点からも問題となっている。あいあいセンターにおいても高齢化による組合員の減少が見られる。				課題の捉え方	点数		
改善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】JA等の関係機関と連携し、新たな認定農業者の掘り起こしや、既認定農業者については、更新時、再認定を働きかける。認定農業者のメリットをPRし、更なる人員増を目指す。また、認定農業者協議会の活動の支援を引き続き行う。あいあいセンターについては、新規組合員や臨時職員の募集を行うと共に、効率的な運営が必要である。				解決・改善の捉え方	点数		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)	
	32.50点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	7.81点 /10点	7.50点 /10点		77.81点 /100点	

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

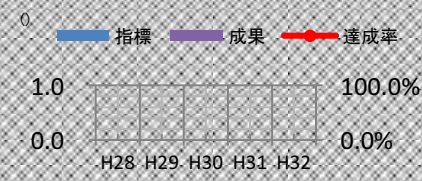
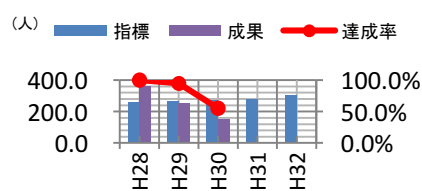
分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり					
	基本方針	基本方針4活力ある産業を育み働きやすいまち		基本計画 K P I ①担当課	商工振興課		
	基本計画	16_工業の振興		担当及び K P I ②担当課			
目的	地域経済の安定と雇用を確保するため、経営強化された企業や優良な新企業が立地した町とする。						
P D C A (P D)	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	中小企業の経営安定化	商工振興課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	62.5	
	取組内容	商工会・金融機関等と連携し、中小企業振興資金をメインとした制度融資による金融支援をおこなった。また、邑楽町小規模企業振興会議を邑楽町では初めて開催し、今後の施策につなげるための第一歩を踏み出した。					
	(2)	企業誘致の推進	都市建設課(商工)	あまり取り組めていない	25	×係数	
	取組内容	・新規産業団地の事業化に向け、関係各所との協議を行い、最終的に関係課長会議を開催して候補地区を一般保留地区として、引き続き検討することとなった。一方で、町内における工業団地の分譲は終了しており、新たな誘致には至らなかった。					
	(3)	研究開発や起業・創業の促進	商工振興課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	県と連携してぐんま新技術・新製品開発推進事業に取り組み、製品開発を支援した。また、商工会と連携した創業のワンストップ相談窓口を設置し対応を図った。					
	(4)	担い手の育成	商工振興課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	若年労働者や学生の能力開発と技術向上のため、産業技術専門学校などを支援した。また、経営診断や経営研修会を実施する商工会を支援するとともに、連携を図り情報収集や情報提供などを推進した。					
(5)					31.25		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① (D)	KPI	創業支援事業による起業事業者数				達成率	
	H32	10.0		単位	件	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	1.0	件	1.0	件	100.0%	30.00
	H29	1.0	件	2.0	件	100.0%	
	H30	2.0	件	3.0	件	100.0%	
	H31	2.0	件		件	#N/A	
H32	10.0	件		件	#N/A		
目標② (D)	KPI					達成率	
H32		単位			—		
年度	指標	成果	達成率		×係数		
H28					100.0%	—	
H29					100.0%		
H30					0.0%		
H31					0.0%		
H32					0.0%		
分析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】創業の相談を受けた案件で、当町ではないエリアで起業した事例があった。起業につながったことは良かったが、当町で起業するメリットが見出せない状況を感じる。				課題の捉え方	点数	
改善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】シンボルタワー手づくりミニショップ出店者へ起業について説明する機会を設けた。また、町内企業にビジネスマッチングの場を提供する目的で、邑楽町では初めて企業情報交換会を開催した。今後恒例行事としてそのような場を設け地道な活動を続けることが必要であると思われる。				解決・改善の捉え方	点数	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 75.78点 /100点	
	31.25点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	7.50点 /10点	7.03点 /10点		

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり				
	基本方針	基本方針4活力ある産業を育み働きやすいまち			基本計画 KPI①担当課	商工振興課
	基本計画	17 商業の振興			担当及び KPI②担当課	
目的	町民の生活を支えるとともに、本町のにぎわいを創出するため、町民のニーズに応えられる商店、訪れたい商店が立地する町とする。					
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性			DO		
	(1)	商業の振興	担当課	取組状況	進捗	進捗平均
		取組内容	商工会へ補助金を支出し支援をするとともに、小規模企業振興会議、企業情報交換会を開催した。邑楽町産業祭を開催し、商業の活性化を目指した。住宅リフォーム補助金制度により町内リフォーム業者の利用を促進している。	商工振興課	一部取り組んでいる	50
	(2)	商業進出の支援	担当課	取組状況	進捗	進捗平均
		取組内容	商工会へ補助金を支出し支援をしたが、具体的な取り組みにはつなげられていない。	商工振興課	あまり取り組めていない	25
	(3)					50%
		取組内容				
	(4)					点数
		取組内容				
	(5)					
	取組内容					
(6)					18.75	
	取組内容					
(7)						
	取組内容					
目標① (D)	KPI	創業支援事業による起業店舗数				達成率
	H32	10.0		単位	件	0.0%
	年度	指標		成果	達成率	×係数
	H28	1.0	件	0.0	件	0.0%
	H29	1.0	件	2.0	件	100.0%
	H30	2.0	件	0.0	件	0.0%
	H31	2.0	件		件	#N/A
H32	10.0	件		件	#N/A	
						30 点数
						0.00
目標② (D)	KPI					達成率
	H32			単位		—
	年度	指標		成果	達成率	×係数
	H28					100.0%
	H29					0.0%
	H30					0.0%
	H31					0.0%
H32					0.0%	
						—
分析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	点数
	【KPI①】後継者不足による店舗の廃業や、すでに空き店舗となった物件の対策等が想定される。				A~Eの5段階評価 A10点 0 B7.5点 7 C 5点 8 D2.5点 0 E 0点 1	5.78
改善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。				解決・改善の捉え方	点数
	【KPI①】商工会と連携を図り情報共有を進めることが必要であると思われる。				A~Eの5段階評価 A10点 0 B7.5点 4 C 5点 10 D2.5点 2 E 0点 0	5.31
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 29.84点 /100点
	18.75点 /50点	0.00点 /30点	— 一点	5.78点 /10点	5.31点 /10点	

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり					
	基本方針	基本方針4活力ある産業を育み働きやすいまち			基本計画 KPI①担当課	商工振興課	
	基本計画	18.良好な就労環境の整備			担当及び KPI②担当課		
目的	働く意欲のあるすべての人の雇用が安定するように、就業機会が確保され、勤労者の福祉が充実した町とする。						
P D C A (P D)	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	若者・女性・高齢者などへの就労支援	商工振興課	一部取り組んでいる	50	50.0	
	取組内容	ぐんま若者サポートステーションと連携して、若者の就労支援を目的とした就職活動の支援セミナーを邑楽町共同福祉施設で開催した。					
	(2)	雇用の安定・促進に向けた事業者との連携	商工振興課	一部取り組んでいる	50	×係数	
	取組内容	事業者に対して中小企業退職金共済制度の助成をおこない、従業員の生活の安定と中小企業の経営の安定に資するよう支援した。					
	(3)	勤労者福祉の充実	商工振興課	一部取り組んでいる	50	50%	
	取組内容	労使の相互理解と信頼関係の強化を図るため、労使教育委員会を中心とした取り組みを推進し、労働者の福利厚生を充実を図った。					
	(4)					点数	
	取組内容						
(5)					25.00		
取組内容							
(6)					25.00		
取組内容							
(7)					25.00		
取組内容							
目 標 ① (D)	KPI	勤労者向けのレクリエーションイベント参加者数				達成率	
	H32	300.0		単位	人	55.2%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	260.0	人	357.0	人	100.0%	30 点数
	H29	265.0	人	251.0	人	94.7%	
	H30	270.0	人	149.0	人	55.2%	
	H31	280.0	人		人	#N/A	
H32	300.0	人		人	#N/A		
						16.56	
目 標 ② (D)	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28					100.0%	— 点数
	H29					0.0%	
	H30					0.0%	
	H31					0.0%	
H32					0.0%		
						—	
分 析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】労使教育委員会の事業として取り組んでいる学級講座事業及びレクリエーション事業のバスツアーは、30年度は応募者が少なく2回中止となった。			課題の捉え方	点数		
改 善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】ツアー数を減らし、参加費を低く抑える方策も検討の余地がある。また、構成団体一丸となった広報をおこなうことも必要であると思われる。			解決・改善の捉え方	点数		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	
	25.00点 /50点	16.56点 /30点	— 一点	5.47点 /10点	5.78点 /10点		総合評価(点数) 52.81点 /100点



策定委員会評価欄
課題の捉え方
A~Eの5段階評価
A10点 0 B7.5点 6
C5点 7 D2.5点 3
E0点 0

策定委員会評価欄
解決・改善の捉え方
A~Eの5段階評価
A10点 0 B7.5点 7
C5点 7 D2.5点 2
E0点 0

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり					
	基本方針	基本方針4活力ある産業を育み働きやすいまち		基本計画 KPI①担当課	商工振興課		
	基本計画	19 観光活動の活発化		担当及び KPI②担当課			
目的	観光産業を育成するため、魅力的な観光拠地があり、地域資源を生かした体験型観光やイベントなどが開催される町とする。						
P D C A (P D)	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	観光地域づくりと観光客誘客の推進	商工振興課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	62.5	
	取組内容	シンボルタワー周辺で開催した「光のページェント HiKARi MiRAi」時に、あいあいセンターと連携を図り、期間限定のナイトカフェをオープンさせて誘客につなげた。また、タワー展望室内でのプロジェクションマッピングを初めて開催し、シンボルタワーへの入場を促すイベントを企画した。					
	(2)	観光活動の活発化	商工振興課	一部取り組んでいる	50	×係数	
	取組内容	町制施行50周年記念事業として、おaura祭りや産業祭を充実させて開催した。また、群馬デスティネーションキャンペーンへ向けた観光素材の磨き上げを進めた。佐野プレミアムアウトレットで開催した「いばらき・とちぎ・ぐんま・さいたま大集合！」のイベントにも参加し広く邑楽町をPRした。					
	(3)					50%	
	取組内容						
	(4)					点数	
	取組内容						
(5)					31.25		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① (D)	KPI	観光イベントの参加者数				達成率	
	H32	52000.0		単位	人	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	51300.0	人	52000.0	人	100.0%	30
	H29	51500.0	人	53000.0	人	100.0%	点数
	H30	51700.0	人	53000.0	人	100.0%	30.00
	H31	51800.0	人		人	#N/A	
H32	52000.0	人		人	#N/A		
目 標 ② (D)	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28					100.0%	—
	H29					0.0%	—
	H30					0.0%	—
	H31					0.0%	—
H32					0.0%	—	
分 析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】施設の老朽化に伴い、計画的な改修を実施し、長寿命化を図る必要がある。特にシンボルタワーは雨漏りが顕著で、電気的な不具合にもつながっており、早急な対策が必要である。			課題の捉え方	点数		
				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 8 C5点 D2.5点 0 E0点 0	6.88		
改 善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】改修の概算費用は把握しているが、現状の施設の調査・分析を進め、精度の高い改修費用を算出する必要がある。調査にも一定の費用がかかることから、調査費用の確保も含めた準備を進める必要がある。また、イベントのPRIについてもより良い方策を探していきたい。			解決・改善の捉え方	点数		
				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 9 C5点 D2.5点 2 E0点 0	6.72		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)
	31.25点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	6.88点 /10点	6.72点 /10点		74.85点 /100点

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり						
	基本方針	基本方針5快適で利便性の高い都市基盤のまち			基本計画 K P I ①担当課	都市建設課		
	基本計画	20.計画的な土地利用の推進			担当及び	K P I ②担当課		
目的	自然と暮らしやすい環境が調和した、秩序ある計画的な土地利用と市街地整備がなされている町とする。							
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性			DO				
	(1)	秩序ある土地利用の規制・誘導	都市建設課	取組状況	概ね計画調書通り取り組んでいる	進捗	75	
	取組内容	・改定及び策定作業の終了した「都市計画マスタープラン」・「立地適正化計画」については、30年5月に町HP上で公表して運用を開始し、関係者及び町内全戸へ概要版の配布を行って周知を図った。・「土地開発指導要綱」については、町HP上に掲載して周知を図った上で、一定規模以上の開発に対し指導を行い、規制には至らないまでも無秩序な開発の抑制に寄与している。					62.5	
	(2)	都市的土地利用の促進	都市建設課	一部取り組んでいる		50	×係数	
	取組内容	・改定及び策定作業の終了した「都市計画マスタープラン」・「立地適正化計画」については、30年5月に町HP上で公表して運用を開始し、関係者及び町内全戸へ概要版の配布を行って周知を図った。・工業系及び商業系用途の土地利用拡大については、関係機関と協議を行っているものの、具体的な施策の展開に至っていない。						
	(3)	自然的土地利用の保全	農業振興課	概ね計画調書通り取り組んでいる		75	50%	
	取組内容	優良農地を確保するために、農業振興地域の整備に関する法律第10条第3項の規定に基づき、農振農用地(青地農地)に指定すべき農地で未指定になっている農地(白地農地)について、約52haを青地農地に編入した。また、農地の有効利用については、邑楽町農業振興地域整備計画を基に関係機関と連携し、慎重に進めた。松くい虫被害木の伐倒による適正処理により平地林の保全が図れた。県単補助の小規模農村整備事業を活用し、道路整備等居住環境整備が進んだ。(都市建設課担当)						
	(4)	市街地整備、面整備事業の推進	都市建設課	一部取り組んでいる		50	点数	
	取組内容	・鶉区画整理事業の30年度末進捗率は36.9%であった。						
	(5)						31.25	
(6)								
(7)								
目 標 ① (D)	KPI	土地利用に対する満足度				アンケート未実施のため前回実績を記載(H28)		達成率
	H32	25.0		単位	%	(%) 指標 成果 達成率		93.3%
	年度	指標	成果	達成率	26.0 24.0 22.0 20.0		100.0%	
	H28	23.2	%	22.4	%	96.6%	50.0%	
	H29	23.6	%	22.4	%	94.9%	0.0%	
	H30	24.0	%	22.4	%	93.3%		
	H31	24.4	%		%	#N/A		
H32	25.0	%		%	#N/A			
目 標 ② (D)	KPI							達成率
	H32			単位		0 1.0 0.0		—
	年度	指標	成果	達成率	H28 H29 H30 H31 H32		100.0%	
	H28					#N/A	0.0%	
	H29					#N/A		
	H30					#N/A		
	H31					#N/A		
H32					#N/A			
分 析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄				
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】総合計画策定のための町民アンケート調査結果では、将来の町に対し「住みやすい環境が整った住宅のまち」や「自然を活かしたまち」が望まれる一方、土地利用に対しては商業系・工業系・住宅系の開発を望む声も多く、「都市計画マスタープラン」や「立地適正化計画」によって秩序ある「まちのまとまり」を図るべく、ゆるやかな土地利用の誘導を行っていくことを町民に理解を深めてもらう必要がある。			課題の捉え方	点数			
改 善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄				
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】・改定及び策定の終了した「都市計画マスタープラン」・「立地適正化計画」の事業者・町民への周知を図り、適切な運用を行う。 ・「土地開発指導要綱」の適切な運用及び一部見直しを行う。			解決・改善の捉え方	点数			
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)	
	31.25点 /50点	28.00点 /30点	— 一点	7.81点 /10点	7.19点 /10点		74.25点 /100点	

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり				
	基本方針	基本方針5快適で利便性の高い都市基盤のまち		基本計画 K P I ①担当課	都市建設課	
	基本計画	21_交通環境の整備		担当及び K P I ②担当課	企画課	
目的	交通の利便性向上や産業の活性化のため、町全体に機能的で安全な道路網を整える。また、誰もが不自由なく移動できるように、公共交通が利用しやすい環境を整える。					
P D C A (P D)	PLAN		DO			
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	広域幹線道路の整備	都市建設課	一部取り組んでいる	50	65.0
	取組内容	・H26年度より主要地方道足利・邑楽・行田線歩道設置事業狸塚工区事業着手している(H31最終年) ・H27年度より主要地方道足利・邑楽・行田線歩道設置事業中野工区事業着手している(H30最終年)				
	(2)	町道の整備・維持管理	都市建設課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数
	取組内容	・市町村道五ヶ年計画に基づき、社会資本整備総合交付金を活用しながら幹線道路への歩道設置を実施している(幹線26号線)。また、舗装維持修繕計画(長寿命化計画)に従い舗装修繕を実施している。 ・維持管理については、業務委託を行い、地区の土木委員と協力し事故の未然防止に努めている。				
	(3)	戦略的な道路整備の推進	都市建設課	あまり取り組んでいない	25	50%
	取組内容	・都市計画決定されていても、計画を縮小して行うものが県管理1路線(足利邑楽行田線)ある ・(仮称)両毛中央幹線(利根川新橋)の実現に向け足利鴻巣線新設整備促進同盟会及び利根川新橋建設促進期成同盟会を通して要望を行っている。				
	(4)	鉄道交通の推進	企画課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数
	取組内容	東武鉄道促進期成同盟会(7市5町)により、乗車啓発活動や東武本社への小泉線の利便性の向上、特急りょうもう号の最終便増設や本中野駅舎の耐震化などの要望活動を行い、鉄道交通の更なる推進を行った。				
(5)	公共バス路線の整備	企画課	計画調書通り取り組んでいる	100	32.50	
取組内容	循環型バスネットワークの一助とすべく、平成30年4月1日から館林・邑楽・千代田線を経路変更し、町の公共バス2路線【邑楽～太田線と館林・邑楽・千代田線】を邑楽町役場で結節させた。また、路線変更により、おうら病院をはじめ11の停留所を新設させ利便性向上を図った。					
(6)						
取組内容						
(7)						
取組内容						
目 標 ① (D)	KPI	国県道を含めた町内道路の改良率				達成率
	H32	61.0		単位	%	100.0%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	59.4	%	59.8	%	100.0%
	H29	59.6	%	60.3	%	100.0%
	H30	59.8	%	60.3	%	100.0%
	H31	60.0	%		%	#N/A
H32	61.0	%		%	#N/A	
						15
						15.00
目 標 ② (D)	KPI	公共バス利用者数				達成率
	H32	28500.0		単位	人	82.2%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	27800.0	人	26957.0	人	97.0%
	H29	27900.0	人	25622.0	人	91.8%
	H30	28100.0	人	23097.0	人	82.2%
	H31	28300.0	人		人	#N/A
H32	28500.0	人		人	#N/A	
						15
						12.33
分 析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	点数
	【KPI①】交付金等の特定財源の確保が難しく進捗に遅れが出ているため、引き続き国・県への要望を行っていく 【KPI②】利用者数(H29)25,622人(館11,939人+太13,683人)→(H30)23,097人(館9,754人+太13,343人)=前年度比-2525人となっており、館林・邑楽・千代田線の減少が多くみられる。 館林・邑楽・千代田線は、H30.4.1に経路変更に伴うダイヤ改正を行ったが、朝便の出発時間が早まったため、千代田町内で通学に利用していた学生が他の路線に利用を変更するなど、利用者の減少が顕著に現れている。				A～Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.97
改 善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。				解決・改善の捉え方	点数
	【KPI①】県の管理する広域的幹線道路は局部的ではあるが改善されており、引きつぎ要望を行っていく ・町の管理する道路については、幹線道路・生活道路ともに交付金等の特定財源の確保に努め毎年一定程度の整備を推進していく 【KPI②】2021年度高崎市から館林市間を繋ぐBRTの運行(県運行)に合わせて、バス利用者増加に向けて町内にBRTバス停を設置して頂けるよう、県と関係機関で組織する協議会において強く要望していく。また、バス利用者の更なる需要の掘り起こしや経路、ダイヤの再構築を検討する。 ・高齢者や幼少者向けの「バスの乗り方教室」を実施するなど、周知・理解と利用促進を図っていく。				A～Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	8.13
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡
	32.50点 /50点	15.00点 /15点	12.33点 /15点	7.97点 /10点	8.13点 /10点	

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり					
	基本方針	基本方針5快適で利便性の高い都市基盤のまち		基本計画 K P I ①担当課	都市建設課		
	基本計画	22. 緑と水辺の保全と整備		担当及び K P I ②担当課	都市建設課		
目的	緑と水辺の保全と整備により、心安らぐ魅力ある空間があり、美しい自然と触れ合える町とする。						
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	公園の整備推進	担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	取組内容	・「フラワーフレンズ」、「花の孫兵衛川ふれあい花道」や福祉団体に協力をさせていただいて、適正な維持管理に努めている。			25	43.8	
	(2)	緑・自然環境の保全	都市建設課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75		×係数
	取組内容	・邑楽町河川愛護クリーン運動の会が矢場川クリーン作戦や孫兵衛川クリーン作戦を行い河川環境の保全に取り組んでいる。・外来魚駆除作戦のときに、自然観察学習を行い自然環境に関する正しい理解と知識の普及・啓発に努めている。				50%	
	(3)	河川の整備促進	都市建設課	一部取り組んでいる	50		
	取組内容	・多々良川河川整備事業実施中(現在75%) ・新堀川、逆川の河川整備について、アンケート及び川づくり会議を実施(群馬県)				点数	
	(4)	自然景観の整備	都市建設課	あまり取り組んでいる	25		
	取組内容	・多々良沼公園については、芝刈り・草刈り・清掃業務を高齢者活力センターに委託し、植栽管理業務は造園業者に委託し、適正な管理に努めている。				21.88	
	(5)						
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① (D)	KPI	都市公園供用面積				達成率	
	H32	33.6		単位	ha	97.9%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	32.8	ha	32.6	ha	99.4%	15
	H29	33.0	ha	32.6	ha	98.8%	
	H30	33.2	ha	32.5	ha	97.9%	15.00
	H31	33.4	ha		ha	#N/A	
H32	33.6	ha		ha	#N/A		
目 標 ② (D)	KPI	一級河川改修率				達成率	
	H32	63.0		単位	%	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	62.2	%	66.0	%	100.0%	15
	H29	62.4	%	67.0	%	100.0%	
	H30	62.6	%	66.0	%	100.0%	15.00
	H31	62.8	%		%	#N/A	
H32	63.0	%		%	#N/A		
分 析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】轄区画整理事業地内で都市公園に消防施設を築造することになったため、1都市公園を廃止し都市公園供用面積が減少した。 ・計画区域内で、用地の取得ができていないところがある。 【KPI②】多々良川の改修工事については、着実に進捗しており、新堀川・逆川についても、アンケート及び川づくり会議を実施し整備に向け準備が進んでいる。確実な進捗が図られるよう引き続き要望を行う必要がある。			課題の捉え方	点数		
改 善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】区画整理事業地内の都市公園整備について検討する。 ・用地交渉の方法について研究し、交渉を行う。 【KPI②】未改修区間の整備を推進するため、国・県に要望を実施する。 ・藤川の旧河川の町移管に向け、必要な整備を県に要望する。			解決・改善の捉え方	点数		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 66.72点 /100点	
	21.88点 /50点	14.68点 /15点	15.00点 /15点	7.66点 /10点	7.50点 /10点		

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり				
	基本方針	基本方針5快適で利便性の高い都市基盤のまち		基本計画 K P I ①担当課	都市建設課	
	基本計画	23.良好な住環境と市街地形成		担当及び K P I ②担当課	都市建設課	
目的	良質な住宅の供給と良好な住環境の整備を進め、誰もが安心して快適に暮らせる町とする。					
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO			
	(1)	良好な住環境の形成	都市建設課(安安)	一部取り組んでいる	50	37.5
	取組内容	・鶏地区土地区画整理事業では、宅地区画の形成及び道路築造等のための移転補償、道路築造工事等を進めたが、計画された事業費の確保が困難であり、計画事業費の執行ができなかった。 ・町内の空き家について、行政区からの情報を基に2回目の現地調査を行い、データベース化すると共に、実態の把握に努めた。				
	(2)	快適な市街地の形成	都市建設課	あまり取り組めていない	25	×係数
	取組内容	・「都市計画マスタープラン」、「立地適正化計画」の改定・策定作業を終え、30年5月に公表して運用を行っているが、具体的な施策の推進は無かった。				
	(3)	町営住宅の整備	都市建設課	あまり取り組めていない	25	50%
	取組内容	・石打町営住宅を除くその他の住宅は、全て耐用年数を超過しており、修繕に努めているものの、具体的な建替え計画に至っていない。 ・石打町営住宅においては住人の中から管理人を選任し、入居者の見守り活動を行っている。				
	(4)	民間の住宅建設の適正誘導	都市建設課	一部取り組んでいる	50	点数
取組内容	・「都市計画マスタープラン」、「立地適正化計画」の改定・策定作業を終え、30年5月に公表して運用を行っているが、具体的な施策の推進は無かった。 ・住宅リフォーム補助(54件)や木造住宅耐震診断(簡易)(7件)の制度については、一定の利用実績があった。					
(5)					18.75	
(6)						
(7)						
目 標 ① (D)	KPI	住環境に対する満足度				達成率
	H32	30.0		単位	%	88.7%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	26.6	%	25.0	%	94.0%
	H29	27.4	%	25.0	%	91.2%
	H30	28.2	%	25.0	%	88.7%
	H31	29.0	%		%	#N/A
H32	30.0	%		%	#N/A	
					15	
					13.30	
目 標 ② (D)	KPI	鶏土地区画整理事業進捗率				達成率
	H32	53.0		単位	%	84.2%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	34.6	%	32.8	%	94.8%
	H29	39.2	%	34.7	%	88.5%
	H30	43.8	%	36.9	%	84.2%
	H31	48.4	%		%	#N/A
H32	53.0	%		%	#N/A	
					15	
					12.64	
分 析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①②の内容含む】 ・土地区画整理事業は、移転補償費等に多大な事業費を必要とするが、社会経済情勢、町の財政状況等から事業費(予算)の確保が困難である。 ・良好な住環境や市街地の形成に向け、「都市計画マスタープラン」の改定と「立地適正化計画」の策定を進め、公表して運用を行っているが、具体的な施策を推進できなかった。 ・良質な公営住宅の提供として、修繕では対応不可能となってきたため、町営住宅建替事業の検討をする必要がある。				課題の捉え方	点数
					7.19	
改 善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①②の内容含む】 ・土地区画整理事業にあつては、確保できた予算により事業を執行していく。仮換地指定がされていない一部の区域について、権利者等から同意が得られ、事業費を軽減できる換地計画を30年度から検討を始めた。これから4年度間かけて、計画策定(変更)できるよう進めて行く。 ・改定及び策定の終了した「都市計画マスタープラン」、「立地適正化計画」の理念に基づき、具体的な施策の推進を図る必要がある。 ・現行の町営住宅長寿命化計画を国の指針(平成28年公営住宅長寿命化計画策定指針)と町公共施設等総合管理計画との整合を図りながら改定を行い、適切な時期における町営住宅建替事業の検討を行う。				解決・改善の捉え方	点数
					7.19	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 59.07点 /100点
	18.75点 /50点	13.30点 /15点	12.64点 /15点	7.19点 /10点	7.19点 /10点	

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり				
	基本方針	基本方針5快適で利便性の高い都市基盤のまち		基本計画	KPI①担当課	
	基本計画	24.安定した上水道の供給		担当及び	KPI②担当課	
目的	広域水道事業を推進し、持続可能な水道による安定した水の供給を実現する。					
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO			
	(1)	群馬東部広域水道事業の推進	担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	取組内容	包括業務委託によって、職員がコア業務に専念できるようになり効率的に業務を進めることができた。また、官民出資会社と連携し、地域内サービス水準の均一化を図ると共に、更なる品質の向上に努めた。			100	100.0
	(2)	水源の有効活用	安全安心課(企業団)	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数
	取組内容	企業団所有の水源を有効活用した水融通を検討した。また、群馬県の用水供給事業とも連携を図った。				
	(3)	安定供給体制の向上	安全安心課(企業団)	計画調書通り取り組んでいる	100	100%
	取組内容	緊急時のリスクを洗い出し、安定供給へ向けた水源の2重化や、設備の増強などを検討し、一部実施した。				
	(4)	維持管理費・更新費用の低減	安全安心課(企業団)	計画調書通り取り組んでいる	100	点数
	取組内容	企業団エリア全体の最適な水融通を検討し、施設の統廃合及び更新計画策定へ向けた取り組みを積極的に進めた。また、施設の老朽化が進む中、健全な事業執行に重点を置き無駄な投資を避けた。				
	(5)	災害対策の推進	安全安心課(企業団)	計画調書通り取り組んでいる	100	
取組内容	日本水道協会群馬県支部合同防災訓練に参加し、参集・応急給水の手順を再確認した。また、小山市水道事業へ視察に行き、平成27年9月関東・東北豪雨における対応と災害復旧について学習し、今後の企業団の危機管理体制の強化を図った。					
(6)					100.00	
取組内容						
(7)						
取組内容						
目標① (D)	KPI				達成率	
	H32年度	指標	単位	成果	達成率	
	H28				#N/A	
	H29				#N/A	
	H30				#N/A	
	H31				#N/A	
	H32				#N/A	
目標② (D)	KPI				達成率	
	H32年度	指標	単位	成果	達成率	
	H28				#N/A	
	H29				#N/A	
	H30				#N/A	
	H31				#N/A	
	H32				#N/A	
分析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数	
改善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)
	100.00点 /50点	— 一点	— 一点	— /10点	— /10点	

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

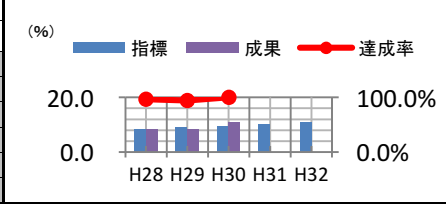
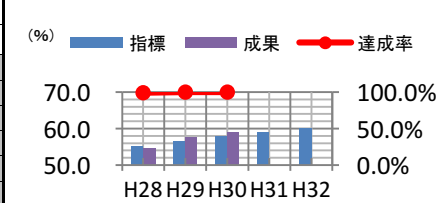
分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり					
	基本方針	基本方針6自然と人が調和し環境にやさしいまち			基本計画 K P I ①担当課	安全安心課	
	基本計画	25.温暖化防止対策の推進			担当及び	K P I ②担当課	
目的	地球温暖化対策に対する町民の意識啓発を図り、温室効果ガス排出量の削減に関し自らが取り組む町とする。						
P D C A (P D)	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	環境教育・環境学習の推進	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	75.0	
	取組内容	各行政区や地域の環境教育に繋げるために、生活環境委員の会議や視察研修を定期的・継続的に実施する。					
	(2)	率先行動の推進	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	町内から排出されるごみの減量化を図るために、生活環境委員会による年2回の小型家電、古着古布等回収事業を行う。					
	(3)	環境情報の整備・提供	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	群馬県大気汚染情報に基づき、県と連携を密にして、町民に必要とされる情報を、お知らせメールにより配信する。					
	(4)	地球環境に配慮した行動の普及・促進	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	住宅用太陽光発電システム設置費補助を行い、クリーンエネルギーの普及促進を図る。					
(5)					37.50		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① (D)	KPI	住宅用太陽光発電システム補助金申請数				達成率	
	H32	700.0		単位	件	97.3%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	536.0	件	536.0	件	100.0%	30
	H29	590.0	件	581.0	件	98.5%	点数
	H30	630.0	件	613.0	件	97.3%	29.19
	H31	670.0	件		件	#N/A	
H32	700.0	件		件	#N/A		
目 標 ② (D)	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28					100.0%	—
	H29					0.0%	—
	H30					0.0%	—
	H31					0.0%	—
H32					0.0%	—	
分 析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】固定買取価格制度の保障期間(10年)が経過する一般家庭が出てくることや太陽光発電システム設置費用低下に伴う売電価格の低下。			課題の捉え方	点数		
改 善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】電気代の節約や売電収入だけでなく、本来の目的であるエコや災害時の非常用電源としての太陽光発電システム設置の推進。			解決・改善の捉え方	点数		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 79.98点 /100点	
	37.50点 /50点	29.19点 /30点	— 一点	6.88点 /10点	6.41点 /10点		

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり					
	基本方針	基本方針6自然と人が調和し環境にやさしいまち			基本計画	KPI①担当課 安全安心課	
	基本計画	26.快適な生活環境の創造			担当及び	KPI②担当課	
目的	日常生活や産業活動からの公害の発生を防止し、快適で美しい生活環境や自然環境が守られた町とする。						
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性			DO			
	(1)	環境美化運動の推進	担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	取組内容	各行政区及び住民と連携を図りながら年2回の環境美化運動を実施。犬の飼い方マナー向上の啓発を行い、犬のふん害対策を図る。			概ね計画調書通り取り組んでいる	75	68.8
	(2)	不法投棄対策の推進	安全安心課	一部取り組んでいる	50	×係数	
	取組内容	不法投棄抑止のために、巡回、監視、回収を生活環境委員等地域住民と連携を図りながら行う。					
	(3)	都市・生活型公害対策の推進	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	工場等の自主管理体制の強化を促し、公害等を未然に防ぐ。合併処理浄化槽の普及・促進を図る。町内の河川・沼において、水質検査を年2回実施。					
	(4)	産業型公害対策の推進	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	各種届出(振動規制法、騒音規制法)を適切に処理。振動測定機器や騒音測定機器の貸し出し。多種多様な住民からの苦情や要望の対応。					
	(5)					34.38	
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① (D)	KPI	BOD				<p>現状値0.9~11mg/lなので上限11mg/lを基準値とする</p>	
	H32	8.5		単位	mg/l		
	年度	指標	成果	達成率			
	H28	10.5	mg/l	13.0	mg/l		0.0%
	H29	10.0	mg/l	11.0	mg/l		0.0%
	H30	9.5	mg/l	8.3	mg/l		100.0%
	H31	9.0	mg/l		mg/l		#N/A
	H32	8.5	mg/l		mg/l		#N/A
目 標 ② (D)	KPI						
	H32			単位			
	年度	指標	成果	達成率			
	H28				#N/A		
	H29				#N/A		
	H30				#N/A		
	H31				#N/A		
	H32				#N/A		
分 析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	点数	
	【KPI①】不法投棄対策及び都市生活型公害対策。				A~Eの5段階評価 A10点 0 B7.5点 9 C 5点 7 D2.5点 0 E 0点 0	6.41	
改 善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。				解決・改善の捉え方	点数	
	【KPI①】群馬県や関係機関との連携の強化を図る。				A~Eの5段階評価 A10点 0 B7.5点 5 C 5点 9 D2.5点 2 E 0点 0	5.47	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	
	34.38点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	6.41点 /10点	5.47点 /10点		総合評価(点数) 76.26点 /100点

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標2快適な暮らしと魅力ある産業があるまちづくり					
	基本方針	基本方針6自然と人が調和し環境にやさしいまち		基本計画 K P I ①担当課	安全安心課		
	基本計画	27.循環型社会の形成		担当及び K P I ②担当課	安全安心課		
目的	環境への負荷を軽減するため、限りある資源の消費抑制と有効利用を推進する町とする。						
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	公共下水道事業の推進	担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	取組内容	コミュニティプラント(新中野・明野地区)の公共下水道への編入に向けた地元説明会の実施及び当該地区に対する工事実施設計を実施。公共下水道接続促進補助金の策定と交付：7件			100	75.0	
	(2)	公共下水道事業認可区域外の排水処理の推進	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75		×係数
	取組内容	浄化槽設置補助金交付：60基 エコ補助金交付：20基				50%	
	(3)	ごみの減量やリサイクルの推進	安全安心課	一部取り組んでいる	50		
	取組内容	コンポスターや電気式生ごみ処理機の購入補助金交付。資源ごみ集団回収団体への補助金交付。回収事業の実施。					
	(4)	ごみ処理の適正化	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	ごみ収集及び運搬を民間業者に委託して、衛生的な生活環境を維持する。 新焼却炉の稼働に向けて、1市3町での連携を強化する。				37.50	
	(5)	し尿等の適正処理の推進	安全安心課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75		
取組内容	し尿及び浄化槽汚泥は、許可業者2社により収集し大泉町衛生センターで処理。						
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① (D)	KPI	汚水処理人口普及率				達成率	
	H32	60.0		単位	%	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	55.0	%	54.6	%	99.3%	15
	H29	56.5	%	57.5	%	100.0%	点数
	H30	58.0	%	58.9	%	100.0%	15.00
	H31	59.0	%		%	#N/A	
H32	60.0	%		%	#N/A		
目 標 ② (D)	KPI	資源化率				達成率	
	H32	11.0		単位	%	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	8.5	%	8.2	%	96.5%	15
	H29	9.0	%	8.5	%	94.4%	点数
	H30	9.5	%	11.0	%	100.0%	15.00
	H31	10.0	%		%	#N/A	
H32	11.0	%		%	#N/A		
分 析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	点数	
	【KPI①】編入に向けて調整中であるため、浄化槽による汚水処理人口率の増しか見込めないこと。また、編入にあたっての他部局調整。 【KPI②】分別収集の徹底。不法投棄が課題。				A~Eの5段階評価 A10点 3 B7.5点 10 C 5点 3 D2.5点 0 E 0点 0	7.50	
改 善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。				解決・改善の捉え方	点数	
	【KPI①】合併浄化槽転換事業のPR。編入計画に向けたスケジュールの明確化。 【KPI②】ごみの減量化と資源化の推進。				A~Eの5段階評価 A10点 2 B7.5点 8 C 5点 6 D2.5点 0 E 0点 0	6.88	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	
	37.50点 /50点	15.00点 /15点	15.00点 /15点	7.50点 /10点	6.88点 /10点		総合評価(点数) 81.88点 /100点



平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標3豊かな心を育む教育のまちづくり				
	基本方針	基本方針7子どもたちの豊かな心と生きる力を育むまち		基本計画 K P I ①担当課	子ども支援課	
	基本計画	28. 幼児教育・保育の充実		担当及び K P I ②担当課	子ども支援課	
目的	心身ともに健康で主体的に活動できる園児を育成していく教育環境を整える。					
P D C A (P D)	PLAN		DO			
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	教育内容と体制の充実	子ども支援課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	87.5
	取組内容	四季をととして豊かな自然環境を活かした活動や季節ごとの行事を取り入れるなどの体験の充実に務める。地域子育て支援として園開放や相談事業の実施。教育の充実に向けた、職員の園内研修や合同研修を引き続き実施し向上を図る。おうらこども園が開園し、幼児教育・保育の一体化を図った。こども園への養護教諭の配置を行った。				
	(2)	健康・安全管理の充実	子ども支援課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数
	取組内容	巡回支援相談員の活用により、発達障害の早期発見と適正な措置を継続的に実施。保健関係課と連携し、いい歯いきいき教室など歯みがき指導や食育推進により健康管理を図る。				
	(3)	家庭・地域・小学校との連携強化	子ども支援課	計画調書通り取り組んでいる	100	50%
	取組内容	高齢者と園児の交流や公民館まつりへの参加、親子ふれあい活動などの親子で一緒に体験できる行事を継続実施。幼稚園、保育園、認定こども園及び小学校の連携会議を実施し、相互参観や情報交換の充実を図り、連携強化を図った。園経営や職員の資質向上を図るため「学校評価」や「学校評議員制度」の活用を図った。				
	(4)	安全な施設・設備の整備	子ども支援課	計画調書通り取り組んでいる	100	点数
	取組内容	定期的な遊具点検を実施し、点検結果による遊具の改修を行った。町立幼児教育・保育施設すべてのAEDの更新を行い、安全管理の継続を実施。中野幼稚園において外灯を設置し、安全性・防犯性の向上を図った。長柄幼稚園・おうらこども園の門扉の改修工事を実施し、安全性の向上を図った。				
(5)					43.75	
取組内容						
(6)						
取組内容						
(7)						
取組内容						
目標① (D)	KPI	学校評価に関する調査において幼稚園に行くのを楽しみにしている園児の割合				達成率
	H32	75.0		単位	%	100.0%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	70.0	%	74.1	%	15
	H29	71.0	%	71.3	%	100.0%
	H30	72.0	%	77.0	%	100.0%
	H31	73.0	%		%	#N/A
H32	75.0	%		%	#N/A	
						15.00
目標② (D)	KPI	園の運営に関する調査において現在の保育園に満足している保護者の割合				達成率
	H32	70.0		単位	%	88.6%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	62.0	%	55.0	%	15
	H29	64.0	%	58.0	%	100.0%
	H30	66.0	%	58.5	%	100.0%
	H31	68.0	%		%	#N/A
H32	70.0	%		%	#N/A	
						13.30
分析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄	
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】目標も達成できており、昨年度よりも割合が上がっている。学びや心の育成、生活習慣の確立など全体的に高い評価を得られているところではあるが、更なる資質の向上を図り、子ども達が園に行くのが楽しみになるよう努めていく。 【KPI②】昨年度よりわずかながら割合が上がっているが、保育のニーズにはまだまだ対応が及ばず、園経営や保育士の更なる資質向上が必要である。				課題の捉え方	点数
						8.28
改善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄	
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①②の内容含む】更なる保護者や園児の実態の把握に努め、保育内容やニーズの対応などについて前年度を踏まえ園全体で検証・検討を行い園経営に反映させる。また、幼稚園、保育園、こども園、小学校と更なる連携を図り、課題の共有に努め、幼児教育・保育の質の向上を図る。				解決・改善の捉え方	点数
						8.13
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 88.46点 /100点
	43.75点 /50点	15.00点 /15点	13.30点 /15点	8.28点 /10点	8.13点 /10点	

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標3豊かな心を育む教育のまちづくり				
	基本方針	基本方針7子どもたちの豊かな心と生きる力を育むまち		基本計画 K P I ①担当課 担当及び K P I ②担当課	学校教育課 学校教育課	
	基本計画	29 質の高い学校教育の推進				
目的	児童生徒の誰もが確かな学力、健康な心身、豊かな心を育むことのできる教育環境を整える。					
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO			
	(1)	教育内容の改善・充実	担当課 学校教育課	取組状況 概ね計画調書通り取り組んでいる	進捗 75	進捗平均 68.8
	取組内容	児童生徒に確かな学力を身に付けるため、校内や教育研究所における研修を充実させ、教職員の指導力向上を図った。各校に学習支援助手や支援員を配置し、個に応じた支援体制を整えた。教育相談員や適応教室指導員も適切に配置し、いじめや不登校の未然防止や早期発見・早期解消を図った。				
	(2)	学校運営の充実	学校教育課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数
	取組内容	学校施設開放や公開授業等を行うとともに、学校評価や人事評価制度の充実により、学校運営の改善と教職員の資質向上を図った。要保護、準要保護就学援助費の支給及び特別支援教育就学奨励費の支給を充実させ、子どもたちが安心して学べる環境づくりを図った。				
	(3)	学校給食の充実	学校教育課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%
	取組内容	食育を推進するため、児童・生徒にアンケート等を実施している。また地元食材を積極的に使用し安全・安心な給食生活を提供している。				
	(4)	学校施設の整備	学校教育課	一部取り組んでいる	50	点数
	取組内容	老朽化した邑楽中学校屋内運動場の床板の張り替え工事や中野東小学校受変電設備の更新工事などを行い、施設や設備の改善を図った。また、中野東小学校の手摺りのない外階段に手摺りを設置するなどし、安全性の向上を図った。				
	(5)					34.38
取組内容						
(6)						
取組内容						
(7)						
取組内容						
目 標 ① (D)	KPI	学校評価調査において、児童生徒が「勉強がわかる」と回答した割合				達成率
	H32	100.0		単位	%	89.2%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	95.0	%	92.5	%	15
	H29	95.0	%	89.9	%	94.6%
	H30	100.0	%	89.2	%	50.0%
	H31	100.0	%		%	0.0%
H32	100.0	%		%	#N/A	
目 標 ② (D)	KPI	学校評価調査において、「学校が楽しいと子どもが言っている」と回答した保護者の割合				達成率
	H32	95.0		単位	%	96.7%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	90.0	%	93.6	%	15
	H29	90.0	%	92.8	%	100.0%
	H30	95.0	%	91.9	%	96.7%
	H31	95.0	%		%	#N/A
H32	95.0	%		%	#N/A	
分 析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①②の内容含む】 新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善を進めることが、児童生徒の学力向上には不可欠である。「対話的、主体的で深い学び」の実現に向けて、「はばたく群馬の指導プラン」「はばたく群馬の指導プランⅡ」を活用するとともに、各校の校内研修や町教育研究所の研究を授業に反映させ、すべての授業で実践していくことが必要である。			課題の捉え方	点数	
改 善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①②の内容含む】 学校指導訪問等を通して目指す授業の在り方について具体的に指導助言する。また、授業研究会等ではポイントをおさえ、授業改善につながる具体的な指導助言に努める。町教育研究所の研究結果を管内各校に逐次伝達し、町内各校が同一歩調で授業改善を進められるようにする。校内研修に対して、各校の実情に合わせた実効性のある取り組みになるよう指導助言し、教職員が主体的に授業改善に取り組めるようにする。			解決・改善の捉え方	点数	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 77.43点 /100点
	34.38点 /50点	13.38点 /15点	14.51点 /15点	7.66点 /10点	7.50点 /10点	

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標3豊かな心を育む教育のまちづくり						
	基本方針	基本方針8町民の学ぶ意欲と創造力を育むまち		基本計画 K P I ①担当課	生涯学習課			
	基本計画	30.社会教育の振興と生涯学習社会の推進		担当及び K P I ②担当課	生涯学習課			
目的	すべての町民が、生涯を通して、いつでも、どこでも学ぶことができる環境を整える。							
P D C A (P D)	PLAN		DO					
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均		
	(1)	生涯学習推進支援体制の充実	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	93.8		
	取組内容	長柄公民館、ヤングプラザを教育行政の中に位置づける条例改正を行った。「小林平造講演会」等社会教育や生涯学習の課題について町民と共に学び、考える事業を積極的に開催した。中央公民館開館準備事業実行委員会を組織し、町民ボランティアを活用した事業展開を行った。社会教育委員に公募制を取り入れた。						
	(2)	社会教育指導体制の充実	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数		
	取組内容	県をはじめ、様々な研修会等に機関役員及び職員を参加させ、資質の向上に努めた。社会教育施設の利用団体及び役員との協議の場を積極的に設け、新たな組織のあり方について検討を行ってきた。社会教育委員が主体となって、東毛地区・全県の研究会で邑楽町の事例発表を行った。						
	(3)	魅力ある生涯学習の展開	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	50%		
	取組内容	社会教育施設を中心に、様々な教室・講座等を開催し、町民の学習要求に応えた。特に様々なコンサートや演劇公演などに取組み、既存の公民館等利用者の層を超えた新たな利用者層の掘り起こしに努めた。新たに開館した中央公民館の施設を活用し、音楽やダンスなど、これまでにない年齢層の学習活動の掘り起こしが進んだ。						
	(4)	社会教育事業の充実	生涯学習課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数		
	取組内容	夜間や早朝など学級講座等の時間の工夫やテーマの工夫などにより、多彩な学習機会の提供に努めた。						
(5)					46.88			
取組内容								
(6)								
取組内容								
(7)								
取組内容								
目標① (D)	KPI	社会教育施設利用人数(社会体育施設を除く)					達成率	
	H32	130000.0		単位	人		100.0%	
	年度	指標	成果	達成率			×係数	
	H28	121000.0	人	123945.0	人		100.0%	15
	H29	123000.0	人	132626.0	人		100.0%	点数
	H30	125000.0	人	149713.0	人		100.0%	15.00
	H31	128000.0	人		人		#N/A	
H32	130000.0	人		人	#N/A			
目標② (D)	KPI	町立図書館の利用率					達成率	
	H32	13.0		単位	冊/人		93.8%	
	年度	指標	成果	達成率			×係数	
	H28	12.5	冊/人	12.4	冊/人		99.2%	15
	H29	12.7	冊/人	11.7	冊/人		92.1%	点数
	H30	12.8	冊/人	12.0	冊/人		93.8%	14.06
	H31	12.9	冊/人		冊/人		#N/A	
H32	13.0	冊/人		冊/人	#N/A			
分析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄				
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数			
改善 (A) <th colspan="3">ACTION</th> <th colspan="2">策定委員会評価欄</th>	ACTION			策定委員会評価欄				
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数			
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)	
	46.88点 /50点	15.00点 /15点	14.06点 /15点	8.91点 /10点	8.59点 /10点		93.44点 /100点	

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標3豊かな心を育む教育のまちづくり					
	基本方針	基本方針8町民の学ぶ意欲と創造力を育むまち		基本計画 K P I ①担当課	生涯学習課		
	基本計画	31_青少年の健全育成		担当及び K P I ②担当課	生涯学習課		
目的	地域社会全体で、成長の各段階において青少年を見守り、育てていく環境を整える。						
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	青少年活動の推進	担当課 生涯学習課	取組状況 計画調書通り取り組んでいる	進捗 100	進捗平均	
	取組内容	各種青少年団体の事務局を抱える中央公民館を主体に、青少年団体への支援を着実にいった。次世代育成を目指したリーダー養成講座を開催し、昨年の倍以上の中学生が参加した。それらにより、減少が著しかった高校生リーダーも減少に歯止めがかかりつつある。また、中央公民館を拠点に活動する団体への中高生の参加、音楽やダンスなどの利用増大など、社会教育施設を利用する青少年も増えつつある。			83.3		
	(2)	青少年の社会参加の促進	生涯学習課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	小中学校の児童生徒が主体となった地域に対してのボランティア活動などを積極的に実施した。社会教育施設においても、青少年の体験・交流を主眼としたさまざまな事業を展開した。			50%		
	(3)	青少年健全育成の環境づくり	生涯学習課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	学校教育・社会教育それぞれの場で、ネットの危険から子ども達を守るための研修会等を数多く実施した。また、青少推などによる地道なパトロール活動なども年間を通じて実施することができた。					
	(4)					点数	
	取組内容						
	(5)						
取組内容							
(6)					41.67		
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① (D)	KPI	放課後子ども教室の利用者数				達成率	
	H32	3500.0		単位	人	48.5%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	3250.0	人	2880.0	人	88.6%	15
	H29	3300.0	人	1820.0	人	55.2%	点数
	H30	3350.0	人	1625.0	人	48.5%	7.28
	H31	3400.0	人		人	#N/A	
H32	3500.0	人		人	#N/A		
目 標 ② (D)	KPI	青年講座の参加者数				達成率	
	H32	200.0		単位	人	70.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	170.0	人	146.0	人	85.9%	15
	H29	180.0	人	127.0	人	70.6%	点数
	H30	190.0	人	133.0	人	70.0%	10.50
	H31	195.0	人		人	#N/A	
H32	200.0	人		人	#N/A		
分 析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①②の内容含む】 放課後子ども教室は現在高島地区だけの取り組みであり、他地区への広がりがなく、また、青年層の施設離れ、事業離れは深刻であり、長期にわたって減少傾向が続いている。より若者の興味関心に寄り添った事業展開が必要であると共に、単に参加者を増やすだけでなく、彼らの抱えている課題の解決に役立つような情報提供や事業の実施も求められる。また、現在の若者の指向を考えると、団体活動への参加を増やすには限界があり、個人がつながり合うような事業展開を考えていく必要がある。			課題の捉え方	点数		
改 善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①②の内容含む】 放課後子ども教室については、高島地区の経験を他地区と共有して、その意義や成果を広く周知していくことにより、後に続く取り組みを引きだしていく必要がある。特に、他の小学校区で高い問題意識と調整能力を持ったコーディネーターの育成を進めていく。中央公民館の開館を契機に、より若者が集まりやすい場の提供や発表機会の提供などに取り組んでいく。また、SNSの活用など、現代の若者の実態に即したPR方法なども検討していく。			解決・改善の捉え方	点数		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 75.86点 /100点	
	41.67点 /50点	7.28点 /15点	10.50点 /15点	8.28点 /10点	8.13点 /10点		

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標3豊かな心を育む教育のまちづくり					
	基本方針	基本方針8町民の学ぶ意欲と創造力を育むまち		基本計画 KPI①担当課	生涯学習課		
	基本計画	32.スポーツの振興		担当及び KPI②担当課	生涯学習課		
目的	町民の誰もが生涯にわたって心身の健康を維持できるように、スポーツに取り組むことのできる環境を整える。						
P D C A (P D)	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	生涯スポーツ普及・促進	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	81.3	
	取組内容	スポーツ推進委員の積極的な協力のもと、各行政区や団体等への働きかけを強めて出前講座等を展開し、多くの町民にスポーツに親しむ機会を提供した。また、ラジオ体操の普及に努めた。					
	(2)	スポーツ施設の整備・充実	生涯学習課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	町民体育館洋式トイレ改修、青少年広場夜間照明交換、テニスコート(クレーコート)改修工事を実施した。					
	(3)	スポーツ団体の選手育成	生涯学習課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	スポーツ少年団への支援を行うと共に、競技優秀者への表彰・顕彰を行った。					
	(4)	指導者の育成・派遣	生涯学習課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	県等が行うスポーツ推進委員の研修に参加し、資質の向上に努めた。また、スポーツ少年団指導者研修会やスポーツ推進大会の中で実績のある講師による講習会・研修会を開催し、指導者の育成に努めた。					
(5)					40.63		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① (D)	KPI	社会体育施設の利用者数				達成率	
	H32	220000.0		単位	人	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	211000.0	人	228317.0	人	100.0%	15
	H29	212500.0	人	226227.0	人	100.0%	点数
	H30	215000.0	人	223948.0	人	100.0%	15.00
	H31	217500.0	人		人	#N/A	
H32	220000.0	人		人	#N/A		
目 標 ② (D)	KPI	各種スポーツ教室における参加者数				達成率	
	H32	800.0		単位	人	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	700.0	人	889.0	人	100.0%	15
	H29	725.0	人	692.0	人	95.4%	点数
	H30	750.0	人	804.0	人	100.0%	15.00
	H31	775.0	人		人	#N/A	
H32	800.0	人		人	#N/A		
分 析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	点数	
	【KPI①②の内容含む】 高齢化、少子化の影響は顕著で、各種のスポーツ大会参加者は激減しており、大会の維持もままならない状況が生まれている。競技団体に所属し日常的にスポーツに親しむ人も減少の一途をたどっている。その一方で、人工芝を整備したスポーツレクリエーション広場は、利用者が大幅に増加しており、施設の充実が利用者の増につながるという教訓が得られた。				A~Eの5段階評価 A10点 7 B7.5点 8 C 5点 1 D2.5点 0 E 0点 0	8.44	
改 善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。				解決・改善の捉え方	点数	
	【KPI①②の内容含む】 今後も競技者の下支えとなる施設整備に努力すると共に、より幅広い町民が生涯を通じてスポーツに親しむような地域づくりを念頭に置きながら、事業の計画に当たっていく。競技スポーツだけでは先細りは防げないので、全町民を対象とした健康志向の事業についても、より多くの人に経験してもらおうためのPRや工夫をしていきたい。				A~Eの5段階評価 A10点 5 B7.5点 7 C 5点 4 D2.5点 0 E 0点 0	7.66	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	
	40.63点 /50点	15.00点 /15点	15.00点 /15点	8.44点 /10点	7.66点 /10点		総合評価(点数) 86.73点 /100点

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標3豊かな心を育む教育のまちづくり					
	基本方針	基本方針9地域の歴史・文化を守り育むまち		基本計画 K P I ①担当課	生涯学習課		
	基本計画	33_文化財の保護と活用		担当及び	K P I ②担当課		
目的	先人たちの遺した数多くの貴重な文化財を後世に伝えるとともに、生まれ育った郷土の歴史・文化財を知ることによって郷土愛を育む町とする。						
P D C A (P D)	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	文化財の保護・保存	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	83.3	
	取組内容	開発に伴う試掘や事務処理などは遅滞なく着実に実施できた。また、昨年からの継続事業として、県の補助金を活用して中野沼の水生动植物調査報告書を刊行した。報告書の質の高さは、多くの研究者からお褒めの言葉をいただいた。町内の指定文化財の補修に当たって補助金を交付した。					
	(2)	文化財の活用と啓発	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数	
	取組内容	町指定文化財展を開催し、町民に実物の文化財に触れる機会を提供した。中野沼の水生动植物を守るための外来魚駆除大作戦では、昨年に引き続き、全国の自治体で唯一環境庁から特定外来生物の飼養等許可を得て「殺さない駆除」を実施し、マスコミ等で大きな注目を集めた。また、2年ぶりに文化財防火デー(防火訓練)を実施した。					
	(3)	文化財保護推進体制の整備	生涯学習課	一部取り組んでいる	50	50%	
	取組内容	専門職員の配置は実現できなかった。中野沼パトロールに参加するボランティアを募集し、多くの町民等の協力で年間を通じて実施することができた。					
	(4)					点数	
	取組内容						
(5)					41.67		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① (D)	KPI	指定文化財展来場者数				達成率	
	H32	550.0		単位	人	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	510.0	人	352.0	人	69.0%	30
	H29	520.0	人	338.0	人	65.0%	点数
	H30	530.0	人	600.0	人	100.0%	30.00
	H31	540.0	人		人	#N/A	
H32	550.0	人		人	#N/A		
目標② (D)	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28				人	#N/A	—
	H29				人	#N/A	—
	H30				人	#N/A	—
	H31				人	#N/A	—
H32				人	#N/A	—	
分析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】指定文化財展は、これまで町立図書館で開催してきたが、今年度から新設された中央公民館を会場に開催することになった。また、特別展として「縄文人の心に迫る」をテーマに、貴重な遺物を展示することができ、来場者の注目を集めた。その結果、これまでにない多くの来場者を得た。今後は、より町民の関心を引き、展示会に足を運んでもらうための工夫が求められる。特集展示や記念講演会など、新鮮で学習意欲を刺激するようなテーマの設定が課題である。				課題の捉え方	点数	
A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 10 C5点 0 D2.5点 0 E0点 0						8.44	
改善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】文化財の専任職員がいないため、普及・啓発事業がどうしてもおろそかになってしまっている。引き続き専任職員の配置を求めて努力していく。また、職員の研修などを通じて見識を広げながら、そのときの世間の話題や注目を集めるテーマを幅広く情報収集し、展示に生かしていくよう研究していく。				解決・改善の捉え方	点数	
A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 9 C5点 1 D2.5点 0 E0点 0						8.28	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)	
	41.67点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	8.44点 /10点	8.28点 /10点		88.39点 /100点

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標3豊かな心を育む教育のまちづくり					
	基本方針	基本方針9地域の歴史・文化を守り育むまち		基本計画 K P I ①担当課	生涯学習課		
	基本計画	34.芸術文化の振興		担当及び K P I ②担当課	生涯学習課		
目的	芸術文化活動を通じて、町民同士や他市町村の住民との間で共感と交流を広げ、心豊かで文化の薫り高いまちづくりを進めていく。						
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO 担当課		進捗	進捗平均	
	(1)	芸術・文化活動の推進	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	100.0	
	取組内容	町制施行50周年記念及び中央公民館開館記念事業として、中央公民館を中心に様々なコンサートなどの事業を積極的に展開し、多くの来場者を得た。また、県の補助金を活用しながら、幼稚園・保育園・小中学校などへのアウトリーチ(出張コンサート等)を実施し、子ども達が本物の芸術に触れる機会を提供した。					
	(2)	文化活動の拠点となる施設の建設及び活用	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数	
	取組内容	中央公民館建設事業は、着実な事務執行と管理監督を行い、無事に完成及び引き渡しとなった。また、引き渡しを受けてから開館までの間に、備品の受け入れや調整を予定通り完了できた。町民等のボランティアを活用してピアノの弾き込みを行い、経費の縮減と利用者の拡大を並行して進めることができた。					
	(3)	新たな文化創造への取組	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	50%	
	取組内容	中央公民館開館記念事業を展開し、音楽・ダンス・演劇の各部門において新たな担い手の育成を図った結果、町民吹奏楽団や町民劇団が育ってきた。また、全ての小中学校への講師の派遣を行い、次世代の人材育成を進めた。町にゆかりのあるアーティストの協力を得て実施した町オリジナルの開館記念イベント「虹色カーニバル」は専門家からも極めて高い評価を得た。					
	(4)					点数	
	取組内容						
	(5)					50.00	
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① (D)	KPI	中央公民館ホールの利用者数			開館がH30のため、準備事業に取組んでいる場合指標H29まで1人とする	達成率	
	H32	20000.0		単位	人	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	1.0	人	1.0	人	100.0%	15
	H29	1.0	人	1.0	人	100.0%	点数
	H30	10000.0	人	24858.0	人	100.0%	15.00
	H31	18000.0	人		人	#N/A	
H32	20000.0	人		人	#N/A		
目 標 ② (D)	KPI	芸術文化鑑賞・体験活動の参加者数				達成率	
	H32	10000.0		単位	人	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	7200.0	人	8580.0	人	100.0%	15
	H29	7900.0	人	9909.0	人	100.0%	点数
	H30	8600.0	人	19837.0	人	100.0%	15.00
	H31	9300.0	人		人	#N/A	
H32	10000.0	人		人	#N/A		
分 析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①②の内容含む】 芸術文化の振興には、専門的な知見を持ち、長期的な展望を備えた専門家の存在とそのリードのもとでの計画的なアプローチが必要だが、職員には個々の芸術分野における専門的なスキルがない。そのため、経験豊富な臨時職員を雇用し、多くの町民や専門家の参画と協力を得て実施した。中央公民館開館に向けて極めて短期間での準備となったため、職員には大きな負荷がかかった。また、次年度は記念事業はなくなるので、長期的な視点から今後どのように事業を組んでいくのか、検討が必要である。			課題の捉え方	点数		
改 善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①②の内容含む】 多くの町民やアーティストの積極的な参加があったことにより、大きな成果が得られたと評価している。来年度以降もこの流れを途切れさせることなく、さらに幅広い町民の参加とレベルアップを図っていくとともに、より専門的な見地から企画・運営ができるよう、芸術監督の設置についても検討していく。			解決・改善の捉え方	点数		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 97.5点 /100点	
	50.00点 /50点	15.00点 /15点	15.00点 /15点	9.06点 /10点	8.44点 /10点		

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

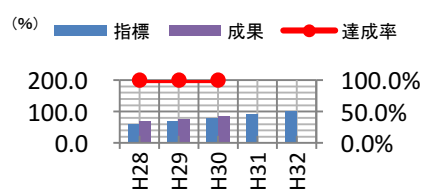
分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり				
	基本方針	基本方針10共生社会を実現するまち		基本計画 KPI①担当課	企画課	
	基本計画	35.多文化共生・国際化の推進		担当及び	KPI②担当課	
目的	国際社会のなかで互いの文化を理解し合える広い視野をもった人材を育成できる環境を整える。また、外国籍住民が安心して暮らせる環境を整える。					
P D C A (P D)	PLAN		DO			
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	(1)	多言語等による情報提供の充実	企画課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	60.0
	取組内容	多言語翻訳に対応した町ホームページから申請やイベント情報などの町行政情報を発信した。また、国や県からの防災情報等を取得できる多言語対応アプリの情報を窓口を設置するなど情報提供に努めた。また、窓口業務において多言語に対応出来るよう翻訳機の導入を検討した。				
	(2)	防災及び災害時への対策	安全安心課	取り組めていない	0	×係数
	取組内容	防災情報の多言語化や外国人の防災訓練への参加は行っていない。				
	(3)	保健・医療に関する支援	健康福祉課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%
	取組内容	外国籍の住民にとって保健制度は理解が難しいが、乳幼児健診などの通知は多言語化し発送し、また、予防接種の翻訳をダウンロードするなどの情報提供に努めた。また、ピザ切れの乳幼児に対しても感染症予防等から予防接種や乳幼児健診が受けられるよう取り計らいました。養育力に欠ける外国人世帯に対しては家庭訪問で支援等を行いました。				
	(4)	人権啓発活動の推進	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数
	取組内容	人権問題の多様化・複雑化をはじめ、社会経済情勢等の変化に伴い新たな人権問題も生じている中、人権啓発推進事業として、お互いの人権が尊重される社会の実現に向け、人権の大切さを正しく理解し認識を一層深め、考えるきっかけとなるよう地域住民の人権意識の普及高揚を図ることを目的に人権啓発活動講演会を開催した。				
(5)	交流機会の充実と多文化共生意識の向上	総務課(学教・生涯)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	30.00	
取組内容	外国籍住民の転入又は町内転居時に区長の連絡先等を紹介することで、自治会加入の促進を図った					
(6)						
取組内容						
(7)						
取組内容						
目標① (D)	KPI	国際交流の推進の満足度				達成率
	H32	30.0		単位	%	66.7%
	年度	指標	成果	達成率	×係数	
	H28	30.0	%	20.0	%	30
	H29	30.0	%	20.0	%	66.7%
	H30	30.0	%	20.0	%	66.7%
	H31	30.0	%		%	#N/A
H32	30.0	%		%	#N/A	
目標② (D)	KPI					達成率
	H32			単位		—
	年度	指標	成果	達成率	×係数	
	H28					—
	H29					100.0%
	H30					0.0%
	H31					—
H32					—	
分析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】現在国際情勢が不安定なため海外研修や留学等の事業推進が難しい状況にある。また、町内に外国籍の団体等がないため、情報発信先が明確でない。			課題の捉え方	点数	
					A~Eの5段階評価 A10点 3 B7.5点 9 C 5点 3 D2.5点 1 E 0点 0	7.19
改善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】国際交流機会の創出にむけ、町ホームページでイベント情報など行政情報を多言語で発信し、内容の充実も図る。また、日本人と外国籍のグループ形成していくための調査研究を行っていく。海外研修や留学等の事業推進は、国際情勢が不安定なため課題が多いが、外国人の受け入れを推進するなど、国内でのグローバル教育の推進を優先して検討していく。			解決・改善の捉え方	点数	
					A~Eの5段階評価 A10点 3 B7.5点 7 C 5点 5 D2.5点 1 E 0点 0	6.88
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 64.07点 /100点
	30.00点 /50点	20.00点 /30点	— 一点	7.19点 /10点	6.88点 /10点	

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり					
	基本方針	基本方針10共生社会を実現するまち		基本計画 K P I ①担当課	住民課		
	基本計画	36 人権の尊重・男女共同参画社会の推進		担当及び	K P I ②担当課		
目的	すべての町民が一人ひとりの人権を尊重した考えと行動をとることができる社会を実現する。						
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	計画的な事業推進	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	80.0	
	取組内容	すべての町民が一人ひとりの人権を尊重した考え・行動をとることができる社会実現をめざし、各種の人権教育・啓発を推進する事を趣旨に「邑楽町人権教育・啓発の推進に関する基本計画」を策定し、平成30年度において、第5回目の邑楽町人権教育・啓発の推進に関する基本計画推進懇談会を開催し、基本計画策定後の推進状況等について検証を行った。					
	(2)	人権教育の推進	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数	
	取組内容	人権教育推進協議会や集会所事業運営委員会を定期的に開催し、事業の推進を図った。人権啓発作品の募集と啓発への活用を行った。また、昨年度に引き続き、町独自で指導者向け研修会を開催した。					
	(3)	人権啓発の推進	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	人権問題・同和問題については、互いに正しく理解、認識することが最も重要であるが、人権問題の多様化・複雑化をはじめ、社会経済情勢等の変化に伴い新たな人権問題も生じている。人権啓発推進事業として、お互いの人権が尊重される社会の実現に向け、人権の大切さを正しく理解し認識を一層深め、考えるきっかけとなるよう地域住民の人権意識の普及・高揚を図ることを目的に人権啓発活動講演会を開催した。					
	(4)	相談・支援業務の充実	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	弁護士による定例の法律相談については相談時間などの実施方法を検討しながら月1回実施し、群馬弁護士会による無料法律相談を10月に1回実施した。女性のための女性弁護士による法律相談を大泉町・千代田町・邑楽町3町合同により毎月1回実施した。人権相談・行政相談については人権擁護委員4名、行政相談員1名を配置し幅広い相談内容に適切に対応できるよう月1回実施した。					
	(5)	関係機関との連携	住民課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	40.00	
取組内容	国や県との連携そして東毛地域人権啓発ネットワーク協議会を通じて市町村間の連携を図った。また他の相談事業について関係機関と綿密な連携を図りながら相談体制の強化に努めた。						
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① (D)	KPI	人権啓発講演会の参加者数				達成率	
	H32	200.0		単位	人	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	200.0	人	168.0	人	84.0%	30
	H29	200.0	人	109.0	人	54.5%	点数
	H30	200.0	人	221.0	人	100.0%	30.00
	H31	200.0	人		人	#N/A	
H32	200.0	人		人	#N/A		
目標② (D)	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28					100.0%	—
	H29					0.0%	—
	H30					0.0%	—
	H31					0.0%	—
H32					0.0%	—	
分析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】広報紙やチラシによる広報活動を実施し、町民に広く呼びかけをして221名の参加者を得た。講演の内容よりも講演者の知名度によって参加者の人数が増える傾向にあるが、知名度が上がると当然講師の謝金も多額になるので、予算との兼ね合いが必要となる。また、会場のキャバの関係で役場大会議室では200名位が限度である。			課題の捉え方	点数		
改善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】広報紙やチラシの他、各種団体に対して案内を配布しより多くの町民に周知できるよう改善したい。今後は中央公民館ホールでの開催を計画し、より多くの町民に講演会に参加する機会を与えたい。			解決・改善の捉え方	点数		
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 84.53点 /100点	
	40.00点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	7.50点 /10点	7.03点 /10点		

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり				
	基本方針	基本方針11町民と歩む協働のまち		基本計画 KPI①担当課	総務課	
	基本計画	37 地域コミュニティ活動の推進		担当及び	KPI②担当課	
目的	町民が地域と触れ合って、交流活動が活発化し、お互いが助け合う住みよい地域社会を実現する。					
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO			
	(1)	行政区活動への支援	担当課	取組状況	進捗	進捗平均
	取組内容	各区長及び住民からの行政区活動について随時相談等に応じ、情報共有を図り、防災意識等を高めるために視察研修や行政区相互の交流の機会に努めた。			75	62.5
	(2)	地域コミュニティ活動の支援	総務課(企画)	一部取り組んでいる	50	
	取組内容	地域文化活動等の地域づくりに対する助成制度の周知に努めた。				50%
	(3)	地域集会施設の整備推進	総務課(企画)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	
	取組内容	行政区からの依頼が多い「邑楽町地域集会施設建設事業補助金」についての周知・助言・指導を行った。				31.25
	(4)	町民コミュニティ活動の推進	商工振興課(生涯)	一部取り組んでいる	50	
	取組内容	中央公民館のイベント時にシンボルタワーの無料チケットを配布するなどして、誘客とPRを図った。また、シンボルタワーで開催している手づくりミニショップにおいては、常設の作品販売のみでなく、ワークショップ等自発的な新たな取り組みをおこなった。				31.25
	(5)					
取組内容					31.25	
(6)						
取組内容					31.25	
(7)						
取組内容					31.25	
(7)						
目 標 ① (D)	KPI	地域集会施設建設事業補助金取組率				達成率
	H32	100.0		単位	%	100.0%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	60.0	%	67.6	%	30
	H29	70.0	%	75.0	%	100.0%
	H30	80.0	%	85.0	%	100.0%
	H31	90.0	%		%	#N/A
H32	100.0	%		%	#N/A	
目 標 ② (D)	KPI					達成率
	H32			単位		—
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28					—
	H29					100.0%
	H30					0.0%
	H31					—
H32					—	
分 析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】地域集会施設建設事業補助金よりも補助率の高い他団体からの助成金もあることから、適切な制度を選択してもらうために、補助を希望する行政区から要望の聞き取りを詳細に行う必要があった。			課題の捉え方	点数	
改 善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】今後も詳細な聞き取り、適切な補助金制度を選択してもらうための助言を行う。			解決・改善の捉え方	点数	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 75.63点 /100点
	31.25点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	7.50点 /10点	6.88点 /10点	



A~Eの5段階評価
A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点

A~Eの5段階評価
A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点

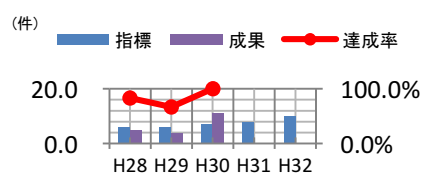
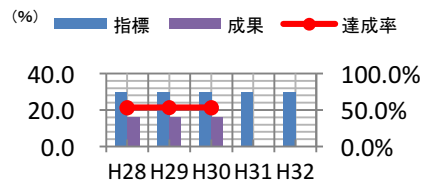
平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり					
	基本方針	基本方針11町民と歩む協働のまち			基本計画 K P I ①担当課	企画課	
	基本計画	38_情報共有と町民参画の推進			担当及び K P I ②担当課	企画課	
目的	効果的な広報・広聴活動により、町民と行政が情報を共有し町政への参画機会の充実と町民の声が反映される町とする。						
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	広報・広聴活動の充実	担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	取組内容	広報紙の紙面の更なる充実を図るとともに、町ホームページもリニューアルし、積極的な広報活動に努めた。また、おうちお知らせメールもリニューアルし、配信内容を選択できるようになり、登録者の利便性を向上させた。SNSの活用について平成31年度の導入に向けて職員研修を開催し、予算の確保に努めた。			概ね計画調書通り取り組んでいる	75	66.7
	(2)	町の魅力の発信とイメージ向上	企画課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	広報活動とともに、町ホームページ、おうちお知らせメール、ケーブルテレビ(株)を積極的に活用し情報発信に努めた。					
	(3)	町政への参画の充実	企画課	一部取り組んでいる	50	50%	
	取組内容	町ホームページから意見・要望を各課係あてに直接送信できるように改善した。このことにより町民からの意見・要望に速やかな対応ができるようになった。パブリックコメントを実施し、結果を町ホームページで公表した。					
	(4)					点数	
	取組内容						
	(5)						
取組内容							
(6)					33.33		
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① (D)	KPI	広報・広聴に寄せられる意見への対応率				達成率	
	H32	100.0		単位	%	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	100.0	%	100.0	%	15	
	H29	100.0	%	100.0	%	100.0%	
	H30	100.0	%	100.0	%	50.0%	
	H31	100.0	%		%	0.0%	
H32	100.0	%		%	#N/A		
目 標 ② (D)	KPI	おうちお知らせメールの登録件数				達成率	
	H32	3200.0		単位	件	32.2%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	3000.0	件	2980.0	件	15	
	H29	3050.0	件	3220.0	件	100.0%	
	H30	3100.0	件	999.0	件	32.2%	
	H31	3150.0	件		件	#N/A	
H32	3200.0	件		件	#N/A		
分 析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	点数	
	【KPI①】町ホームページからの意見・要望(メール)について担当課係によって、回答までの時間がまちまちな場合もあり、全てが速やかとは言えない状況があった。 【KPI②】おうちお知らせメールのリニューアルに伴い、利用者登録を改めて周知した。おうち祭りで周知用のノベルティグッズの配布も行ったが、リニューアル前の登録者数から大幅に減少してしまった。				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.66	
改 善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。				解決・改善の捉え方	点数	
	【KPI①】各課係への意見・要望(メール)は代表アカウントで確認できるため、受信確認後、各課係へ回答の作成と回答内容の参考送付をもなく依頼する。 【KPI②】広報紙や町ホームページ等で利用登録の周知を再度行う機会を設ける。また、H31年度導入予定のSNSもあわせて効果的な周知方法を検討する。				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 C5点 D2.5点 E0点	7.34	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 68.16点 /100点	
	33.33点 /50点	15.00点 /15点	4.83点 /15点	7.66点 /10点	7.34点 /10点		

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり				
	基本方針	基本方針11町民と歩む協働のまち			基本計画 K P I ①担当課	企画課
	基本計画	39.協働のまちづくりの推進			担当及び K P I ②担当課	企画課
目的	町民参加の制度や機会を充実させるとともに、協働による町民の自主的なまちづくり活動を推進する町とする。					
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性			DO		
	(1)	まちづくりの人材育成	生涯学習課	計画調書通り取り組んでいる	100	93.8
	取組内容	「芸術文化によるまちづくり」をテーマとして、全国で実績を上げている平田オリザ氏と孫大輔氏を招き、地元で文化活動をしている団体の代表を交えて講演会を開催し、地域でのまちづくりの担い手育成を目指した。中央公民館開館後のボランティア組織の基礎となる組織(中央公民館開館準備事業実行委員会)に参画し、町民と行政と一緒に取り組む事業を展開した。中央公民館のオープニング事業でも、アーティストと住民有志を交えて実行委員会を組織し、住民のネットワーク構築を進めた。				
	(2)	協働のまちづくり活動の推進	企画課	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数
	取組内容	より多くの団体にまちづくりの共通課題解決に向けて取り組んでいただけるよう、新要綱(協働のまちづくり活動支援事業補助金交付要綱)を策定した。その結果、新規の9団体を含む11団体が総額1,013,480円の事業に取り組んで頂き、町は626,000円の補助金額を交付した。住民の新たな発想と活力で協働活動の活性化に繋げることが出来た。				
	(3)	情報の公開と地域課題の共有化	企画課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%
	取組内容	町広報紙・ホームページ・お知らせメール等で、行政情報を分かりやすく発信し、情報公開及び情報共有に努めた。また、地域課題解決にむけて、住民・住民団体と話し合い情報共有をするとともに、協働への環境形成に努めた。				
	(4)	事業の透明性と評価・改善	企画課	計画調書通り取り組んでいる	100	点数
	取組内容	協働のまちづくり活動団体の取組実績を町ホームページで公表し、地域課題や行政課題への取組・効果等について情報共有し、事業改善・拡充に努めた。				
	(5)					46.88
(6)						
(7)						
目 標 ① (D)	KPI	まちづくりへ参加希望の町民の割合				達成率
	H32	30.0		単位	%	53.3%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	30.0	%	16.0	%	15
	H29	30.0	%	16.0	%	8.00
	H30	30.0	%	16.0	%	
	H31	30.0	%		%	#N/A
H32	30.0	%		%	#N/A	
目 標 ② (D)	KPI	協働のまちづくり実施事業数				達成率
	H32	10.0		単位	件	100.0%
	年度	指標	成果	達成率		×係数
	H28	6.0	件	5.0	件	15
	H29	6.0	件	4.0	件	8.00
	H30	7.0	件	11.0	件	
	H31	8.0	件		件	#N/A
H32	10.0	件		件	#N/A	
分 析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。			課題の捉え方	点数	
改 善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。			解決・改善の捉え方	点数	
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数)
	46.88点 /50点	8.00点 /15点	15.00点 /15点	7.66点 /10点	7.03点 /10点	84.57点 /100点

アンケート未実施のため前回実績を記載(H28)



A~Eの5段階評価
A10点 B7.5点 11
C5点 D2.5点 0
E0点 0

A~Eの5段階評価
A10点 B7.5点 10
C5点 D2.5点 1
E0点 0

≡

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり					
	基本方針	基本方針12信頼に応える行財政運営のまち			基本計画 K P I ①担当課	総務課	
	基本計画	40 情報通信技術 (ICT) の推進			担当及び K P I ②担当課		
目的	ICTを活用し、迅速で効率的な事務執行を図るとともに、より質の高い行政サービスを提供する町とする。						
P D C A (P D)	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	行政サービスの近代化・効率化	企画課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	75.0	
	取組内容	群馬県が調達しH31年度に供用開始予定の「第4次ぐんま電子申請システム」への参加を意思決定し、利用できる申請について各課を交えて検討を開始した。					
	(2)	行政事務の近代化・効率化	企画課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	住民情報システムがH30年度末にリース満了、更改を迎えるにあたり事業者と入念な打合せを行った。本更改により共同利用となるためコストも大幅に縮減される。					
	(3)	情報セキュリティ体制の強化	企画課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	50%	
	取組内容	セキュリティ強化に係るシステムのメンテナンスを行い、外部からの脅威に備えた。また、群馬県警主催のサイバーセキュリティ研修に参加し、情報セキュリティへの見識を高めた。					
	(4)	情報教育の推進	学校教育課(生涯)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	小中学校コンピュータ教室の機器入れ替えや教師用タブレットの設置に向け準備を進めた。また、新しく開館した中央公民館に情報教育のための部屋を設置し、コンピュータ等の機器を整備して定期的に教室を開催した。					
(5)					37.50		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① (D)	KPI	町HPを活用した電子申請数				達成率	
	H32	60.0		単位	件	100.0%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	30.0	件	16.0	件	53.3%	30
	H29	35.0	件	39.0	件	100.0%	点数
	H30	40.0	件	57.0	件	100.0%	30.00
	H31	50.0	件		件	#N/A	
H32	60.0	件		件	#N/A		
目 標 ② (D)	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28					—	
	H29					—	
	H30					—	
	H31					—	
H32					—		
分 析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】建設工事の入札執行は、ほぼ電子入札で対応出来ている。しかし、委託や物品購入などは、受注者の経験不足等により現場担当者からの操作方法などの支援がまだまだ必要である。また、入札案件にて電子で対応するにはやり方等の工夫が必要なこともある。さらなるシステムの理解と操作習熟が求められる。従来の紙入札では、契約までの間、発注する課の職員が担っていた部分があり分業体制で行っていたが、電子移行に伴い、契約までの事務をほぼ契約検査係のみで行う。電子化すればするほど事務量が増加し、負担。			課題の捉え方	点数		
改 善 (A) <th colspan="3">ACTION</th> <th colspan="2">策定委員会評価欄</th>	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】今後も、入札執行については、建設工事をはじめ委託、物品など電子化に向け、システムを習熟し、受注者への支援を促す。電子入札になじまないような案件も、入札条件などを工夫して電子対応を試みる。仕事量の増加に対しては、予定価格から入札執行まで計画的なスケジュール管理を実行し、負担軽減を図る。			解決・改善の捉え方	点数		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 82.5点 /100点	
	37.50点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	7.50点 /10点	7.50点 /10点		

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり					
	基本方針	基本方針12信頼に応える行財政運営のまち		基本計画 KPI①担当課	総務課		
	基本計画	41 効率的・効果的な行政運営の推進		担当及び KPI②担当課			
目的	時代に適応した組織体制の構築と職員の資質向上により「組織力」を高めるとともに、施設の適正な管理や事業の選択と集中による効果的かつ効果的な行政運営を実現する。						
P D C A (P D)	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	効率・効果的な行政運営の確立	住民課(全課)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	85.0	
	取組内容	住民の目線に立った窓口サービスを行うため、窓口でのワンストップ化を目指すと共に、関係課との連携を強固にする事により、住民への案内漏れをなくした。また、個人情報不正に使われないよう、本人確認の徹底を行い、個人情報の保護に万全な体制で臨んだ。					
	(2)	機能的な組織の構築と職員の資質向上	総務課(企画)	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	×係数	
	取組内容	県や県町村会が主催する研修会へ職員を派遣したり、町独自で職員研修会を実施して職員の資質向上を図った。また、各所属長から職場の問題点等を聞き取り、機能的な組織構築に努めた。					
	(3)	計画的な事業の執行と行政評価の推進	企画課	計画調書通り取り組んでいる	100	50%	
	取組内容	総合計画・総合戦略・行政改革の進捗状況及び事業成果を集約した。また、事業成果等について課長会において内部評価を行い事業のブラッシュアップを図った。					
	(4)	公共施設の適正な管理	総務課	概ね計画調書通り取り組んでいる	75	点数	
	取組内容	町全施設(インフラ系・町営住宅除く)個別施設計画の作成に着手した(令和元年5月完成予定)。併せて総合管理計画の改定も行う(令和元年9月完成予定)。今後の施設管理に対して、一つの指標となる改革が完成することになった。					
(5)	民間活力の活用	企画課(全課)	計画調書通り取り組んでいる	100	42.50		
取組内容	PPP/PFIに対して民間会社を交えて調査研究を行った。また、昨年に引き続き広告入り公用封筒の作成及び無償提供に関する協定書を(株)郵宣協会と締結し、これまで公費負担していた公用封筒を民間ノウハウを活用し無償で取得することができた。						
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① (D)	KPI	職員研修参加者数				達成率	
	H32	580.0		単位	人	99.1%	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28	530.0	人	173.0	人	32.6%	30
	H29	540.0	人	364.0	人	67.4%	点数
	H30	550.0	人	545.0	人	99.1%	29.73
	H31	560.0	人		人	#N/A	
H32	580.0	人		人	#N/A		
目標② (D)	KPI					達成率	
	H32			単位		—	
	年度	指標	成果	達成率		×係数	
	H28					—	
	H29					—	
	H30					—	
	H31					—	
H32					—		
分析 (C)	CHECK				策定委員会評価欄		
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。				課題の捉え方	点数	
	【KPI①】日常業務に追われ、研修に参加できない職員が見受けられた。また、今後は業務量の増加や複雑化に伴い、人員不足も予想される。				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 10 C5点 D2.5点 0 E0点 0	7.19	
改善 (A)	ACTION				策定委員会評価欄		
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。				解決・改善の捉え方	点数	
	【KPI①】町独自の研修会を増やしたり、職員のニーズに合った研修会を開催していきたい。また、定員管理を行いながら適切な人員配置に努めたい。				A~Eの5段階評価 A10点 B7.5点 12 C5点 D2.5点 1 E0点 0	7.34	
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 86.76点 /100点	
	42.50点 /50点	29.73点 /30点	— 一点	7.19点 /10点	7.34点 /10点		

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり					
	基本方針	基本方針12信頼に応える行財政運営のまち		基本計画 K P I ①担当課	税務課		
	基本計画	42 財政運営の健全性の確保		担当及び K P I ②担当課			
目的	社会経済情勢の変化や本町の実情に対応し、中長期的な展望に立った健全で計画的な財政運営を行う町とする。						
P D C A (P D)	PLAN		DO				
	施策の方向性		担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	(1)	計画的な財政運営	総務課	一部取り組んでいる	50	56.3	
	取組内容	公共施設個別施設計画の策定に取り組み、令和元年からの修繕計画を予算に反映することが出来た。また、計画の策定により、公共施設等適正管理事業債の活用も出来ることになった。					
	(2)	財源(歳入)の確保	税務課(総務・企画)	計画調書通り取り組んでいる	100	×係数	
	取組内容	個人住民税では、特別徴収の一斉指定が2年目を迎え、より確実な実施に取り組んだ。固定資産税では平成29年度に委託した地目判読作業を基に平成30年度も引き続き課税の見直しを実施した。滞納処分では、預貯金・給与などの差押強化を行い、滞納額の圧縮と歳入の確保に努めた。					
	(3)	公有財産の適正管理	総務課(会計)	あまり取り組めていない	25	50%	
	取組内容	未利用の普通財産の活用について、H29年度の入札不調により、進めることが出来なかった。今後の利活用について、将来性、現実性を考えた再検討が必要である。					
	(4)	経費の削減と使用料の適正化	総務課	一部取り組んでいる	50	点数	
	取組内容	経常経費についての予算について、実績に基づいた予算編成が出来た。今年度も、補助金審査委員会を開催し新規及び既存の補助金に対して検討を行った。					
(5)					28.13		
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目標① (D)	KPI	収納率					達成率
	H32	95.0		単位	%		100.0%
	年度	指標	成果	達成率			×係数
	H28	91.0	%	91.1	%		100.0%
	H29	92.0	%	91.8	%		99.8%
	H30	93.0	%	93.1	%		100.0%
	H31	94.0	%		%		#N/A
H32	95.0	%		%	#N/A		
目標② (D)	KPI						達成率
	H32			単位			—
	年度	指標	成果	達成率			×係数
	H28						—
	H29						—
	H30						—
	H31						—
H32					—		
分析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】特別徴収の一斉指定について、適正に運用しない事業所の把握及び指導方法に課題がある。また、土地の地目判読については、定期的な調査が必要である。			課題の捉え方	点数		
			A~Eの5段階評価 A10点 4 B7.5点 9 C 5点 2 D2.5点 1 E 0点 0	7.50			
改善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】特別徴収の一斉指定については、県や近隣市町との情報共有および指導強化が必要である。また、固定資産税については、職員による現地調査を引き続き実施し、適正課税に努める必要がある。			解決・改善の捉え方	点数		
			A~Eの5段階評価 A10点 4 B7.5点 8 C 5点 3 D2.5点 1 E 0点 0	7.34			
評価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	総合評価(点数) 72.97点 /100点	
	28.13点 /50点	30.00点 /30点	— 一点	7.50点 /10点	7.34点 /10点		

平成30年度 邑楽町第六次総合計画基本計画施策評価シート

分類	基本目標	基本目標4時代の変化に対応し町民に信頼されるまちづくり					
	基本方針	基本方針12信頼に応える行財政運営のまち		基本計画 K P I ①担当課	企画課		
	基本計画	43 広域行政の推進		担当及び K P I ②担当課			
目的	広域化する町民ニーズに対して、町域を越えた行政サービスの向上と、課題解決に向けた広域的視点に立った体制を整える。						
P D C A (P D)	PLAN 施策の方向性		DO				
	(1)	事務組合の推進と強化	担当課	取組状況	進捗	進捗平均	
	取組内容	ごみ処理の広域化を推進するための新焼却炉のスムーズな稼働開始に向けて、太田市他三町広域清掃組合及び太田市・大泉町・千代田町とのより一層の連携強化を図る。			75	91.7	
	(2)	広域協議会などによる連携	企画課	計画調書通り取り組んでいる	100		×係数
	取組内容	両毛広域管内の自治体と連携して、両毛地域への集客・交流を図り一体的な都市圏整備の気運醸成を図るため「両毛グルメシールラリー(参加店舗を巡ってご当地シールをもらい、その枚数によって豪華賞品に応募できるイベント)」を実施し、多くの交流人口を生み出した。※応募者数2876人(前年比+373人)※邑楽町シール発行枚数2158枚(構成自治体中1位)					
	(3)	新たな行政課題への対応	企画課(総務)	計画調書通り取り組んでいる	100	50%	
	取組内容	定住人口確保にむけ、群馬県及び県内自治体とともに移住者相談会を東京都内(有楽町)で開催した。移住希望者に対して、子育て施策を中心に町の各種施策を説明し、PRを行った。					
	(4)					点数	
	取組内容						
	(5)					45.83	
取組内容							
(6)							
取組内容							
(7)							
取組内容							
目 標 ① (D)	KPI	両毛地域内の施設を他市町民が利用した割合				<p>集計時期の関係で、成果数値は前年度実績値となります</p> <p>100.0% 50.0% 0.0%</p>	達成率
	H32	5.0		単位	%		68.9%
	年度	指標	成果	達成率			×係数
	H28	4.0	%	3.2	%		80.0%
	H29	4.3	%	2.7	%		63.5%
	H30	4.5	%	3.1	%		68.9%
	H31	4.8	%		%		#N/A
H32	5.0	%		%	#N/A		
目 標 ② (D)	KPI					<p>100.0% 0.0%</p>	達成率
	H32			単位			—
	年度	指標	成果	達成率			×係数
	H28						100.0%
	H29						0.0%
	H30						0.0%
	H31						0.0%
H32					0.0%		
分 析 (C)	CHECK			策定委員会評価欄			
	目標を達成させる(した)上でどのような課題がありましたか。また、今後どのような課題が想定されますか。 【KPI①】前年比較をすると、「両毛地域内の施設を他市町民が利用した割合」は微増ではあるが上昇している。しかし、まだまだ相互利用できることの認知度が低い。			課題の捉え方	点数		
改 善 (A)	ACTION			策定委員会評価欄			
	来年度以降、上記の課題をどのように解決・改善しますか。 【KPI①】町ホームページや広報紙で相互利用に対し町民に引き続き周知をしていく。また、町ホームページに両毛広域圏総合整備推進協議会のホームページのリンクを貼るなど、周知啓発の充実を図る。			解決・改善の捉え方	点数		
評 価	取組状況	目標①	目標②	分析	改善	≡	総合評価(点数)
	45.83点 /50点	20.67点 /30点	— 一点	7.34点 /10点	7.03点 /10点		80.87点 /100点